

The Tokyo-Cambridge Gazette

In Search of Japan's Global Strategies

2010 年秋から筆者の活動の中心を東京に移した。ケンブリッジの研究者との関係を維持しつつも、米中両国、東南アジア、そして欧州の研究者との関係を強化し、グローバルな視点から読者諸兄姉と共に日本の将来を考えてみたい。従ってタイトルも *Tokyo-Cambridge Gazette* に変更する。

小誌は大量の資料を網羅的かつ詳細に報告するものではない―筆者が接した情報や文献を①マクロ経済、②資源・エネルギー、環境、③外交・安全保障の分野に関し整理したものである。紙面や時間の制約に加えて筆者の限られた能力という問題は有るが、小誌が少しでも役立つことを心から願っている。

『東京=ケンブリッジ・ガゼット：グローバル戦略編』 第 193 号 (2025 年 5 月)

キヤノングローバル戦略研究所 研究主幹 栗原 潤

彼れを知りて己れを知れば、百戦して殆(あや)うからず。

Know the enemy and know yourself; In a hundred battles you will never be in peril.

彼れを知らずして己れを知れば、一勝一負す。

When you are ignorant of the enemy but know yourself; Your chances of winning or losing are equal.

彼れを知らず己れを知らざれば、戦う毎に必ず殆うし。

(孫子)

If ignorant both of your enemy and of yourself; You are certain in every battle to be in peril. (Sunzi/Sun Tzu)

今月号 «目次»

1. *Tokyo-Cambridge Gazette*: グローバル戦略編第 193 号
2. 情報概観―①マクロ経済、②資源・エネルギー環境、③外交・安全保障
3. 編集後記

1. *Tokyo-Cambridge Gazette*: グローバル戦略編第 193 号

今米国で“政治経済的茶番劇(politico-economic farces)”が繰り返されているように映っている。

揺れ動く米国政治を観察する間に次のような印象を抱いた―リーダーには“大局観”が大切で「木を見て森を見ず(not see the wood for the trees)」という過ちを犯さない事が重要だ。翻って側近であるブレインは「森を念頭に置いていても、個々の木を詳細に観察する事」が不可欠だ、と。

国別関税一覧表が公表された日の前日(4 月 1 日)、マンキュー Harvard 大学教授は「トランプ氏は国際経済学の基礎を理解していないようだ。彼の論点の多くは、2 半世紀前にアダム・スミスが既に『国富論』の中で論駁している(Trump doesn't seem to understand basic international economics. A lot of the arguments he makes, Adam Smith was refuting two and a half centuries ago in 'Wealth of Nations')」と、米 *Washington Post* 紙を通じて語った。同時に同紙は「経済原論入門を受講すべきトランプ氏(Trump Needs an Economics 101 Class)」という“読者からの手紙”を掲載した。

また国別リスト発表直後の 3 日、ロゴフ Harvard 大学教授は「今、大統領は世界の貿易体制に核爆弾を投下した(He just dropped a nuclear bomb on the global trading system)」と英国 BBC 放送を通じて語った。これに対し 4 月 7 日、ナヴァロ米大統領上級顧問は英 *Financial Times* 紙に、小論「トランプ氏の関税政策は壊れた現在の経済体制を修復する(Donald Trump's Tariffs Will Fix a Broken System)」を寄稿した。その直後に、彼の見解に対するイエレン前財務長官の反論が 4 月 10 日付 *Wall Street Journal* 紙を通じて伝えられた(PDF 版の 2 参照)。

トランプ氏による関税政策が世界中の金融市場に衝撃を与え、関係各国だけでなく米国内の関連業界からの反発を招いた結果、税率が二転三転している。これはトランプ氏の“MAGA”達成という“目的”に関税政策という政策“手段”が合致していない事に起因している。

大統領は“My Peter”と呼ぶナヴァロ氏と共に、19 世紀末の米国産業の抬頭がマッキンリー大統領時代の関税政策によって実現されたと理解しているらしい。それ故に現在の米国製造業の復活に関税が極めて有効な政策であると信じている。だが、この認識に大きな誤りがあるのだ。確かに 1890 年代の米国製造業の輸出急増は 1890 年関税法の成立と同時期に生じている。だが、当時の経済政策における関税の役割や当時の関税が産業競争力に与えた影響に関する彼等の認識には誤りがある。1890 年関税法は所得税が導入された 1913 年歳入法以前のものだ。即ち関税は、社会保障制度が確立する以前の“規模の小さい”連邦政府の主要財源であった。翻って現在の関税は、複雑な supply chains が縦横に張り巡らされたグローバル経済における単なる一段段であり、しかも社会保障や医療保険、更には国防を担当する“大きな”連邦政府に委ねられた一つの手段だ。従って単純な形で関税を急に変更するだけでは問題は解決しないのである(PDF 版図 1 参照)。

また米国の産業構造変化も考慮すべきだ。1890 年代は製造業が勃興期を迎えて、米国の輸出は従来の棉花や穀物という農産物に加え、鉄鋼・石油が増加し始めた時代だった。新たに発見されたメサビ鉄山から供給される安価な鉄鉱石により、1890 年代中葉から米国鉄鋼業が英国に対して猛追を開始した時期であり、鉄鋼製品の米国輸出に占める割合は 1890 年の 3.0%から 1900 年の 9.0%へと上昇したのだ。(これに関し、例えばアーウィン Dartmouth 大学教授の“How Did the United States Become a Net Exporter of Manufactured Goods?” Apr. 2000)を参照)。

更には相互関税率の算出式に関しても疑問が残る。紙面の都合上、詳述を避けるが、算出時の誤りに関し、米 think tank (AEI)の研究者が小論(“President Trump's Tariff Formula Makes No Economic Sense. It's Also Based on an Error”)を公表している。また独 think tank (IW)の研究者も、論文(„Trumps Liberation Day: Eine kurze ökonomische und handelspolitische Bewertung“)の中で、為替レートや米国の輸出に関して、極めて単純な“他の事情が同じならば(ceteris paribus)”の前提に基づき税率が算出されている点を指摘している(PDF 版の 2 参照)。

かくしてトランプ関税は決して“考え抜かれた(well-thought-out)”ものではなく、経済活動が忌避する“不確実性”を世界中に拡散する政策なのだ。このため筆者は友人達に対し「人工知能(AI)に頼んだ方が、優れた産業再活化政策を案出してくれるかも?」と冗談気味に語った。

トランプ関税を経済政策ではなく外交手段として見た時、関税率の国別一覧表は一層不可思議に映る。

米国の最優先事項が米中大国間競争における勝利ならば、米国側につなぎ留めるべき先進国やアジア諸国に高い相互関税を課するのは何故か。中国による迂回輸出阻止のために、関税に関してアジア諸国と交渉する事が果たして合目的なのだろうか(PDF 版表 1 参照)。

そもそも地政学的に米国はアジアだけでなく、欧州や中東にも目を光らさなくてはならないはずだ。それなのにアジアの友邦を関税で苦しめて良いのか、と疑問に思った次第だ。4 月 6 日に台湾メディア(CNA/中央通訊社)が報じた映像(“相互関税: 頼清徳総統、政策を 5 つ提示: 報復措置は採らず(美対等関税 頼總統提 5 策略: 沒有計劃採取關稅報復)”)を観た時、苦渋に満ちた表情の総統の姿が印象的であった。

こうした中、ナヴァロ氏の著書(*Crouching Tiger: What China's Militarism Means for the World*, Nov. 2015)『米中もし戦わば』/«美、中間戦の起點»/«卧虎: 中国军国主义对世界意味着什么»)を遅ればせながら読んだ。彼は多くの識者の意見を巧みに取り込み、地政学的分析を行っている。本の冒頭から或る程度は納得して読んでいたが、最後の 45 章で“違和感”を感じた。ナヴァロ氏はこの章の冒頭で『聖書』を引用した―「マタイ傳」の「分れ争ふ町また家はたたず(Every city or house divided against itself shall not stand)」だ。もしもこの言葉を彼が信じているならば、“対中”を念頭に米国内及び海外諸国を巧みに啓蒙・統一する手段を編み出す必要があるのではないか。しかし、大統領上級顧問としての彼の助言は米国の内外に拒絶・分裂を生み出した。しかも *Wall Street Journal* 紙に依れば、4 月 9 日に関税率適用に関して 90 日間の延期が決定されたのは、積極的な関税推進派のナヴァロ氏が別の会議に出席して居ない時に、財務・商務両長官が大統領に直訴した結果らしい。即ち閣内においても“分れ争ふ”形となっているのだ。こう考えると、今後とも米国の政権内や国内での“分れ争ふ”状態は不可避だろう。

翻って中国は対抗手段の一つとしてレアアースの輸出を制限し始めた。レアアースはハイテク製品―スマートフォンから最先端戦闘機に至るまで―の製造に不可欠な資源だ。大統領の側近は貿易戦争開始前、資源の対中国(及びカナダ)依存度を調べていなかったのではないか。常識的に考えれば、戦争開始直前には敵国に対する自国の戦略物資の輸入依存度を確認する必要がある。今次貿易戦争の際、関連資料を読めば、中加両国に対し高関税を課す事が賢明だとはいえ、到底思えない(例えば、PDF 版の図 2、3 で示した米国地質調査所(USGS)本年 1 月発表の“Mineral Commodity Summaries 2025”を参照)。ナヴァロ氏に加え国防産業基盤(defense industrial base (DIB))の復権を望むペッセン財務長官も、“森を見つ、木にも細心の注意を払って”)正確な知識に基づき、経済に混乱を招来しないような関税政策を考えるべきだったのだ。

米国自身が“分れ争ふ(divided against itself)”状態ならば、喜ぶのは中国やロシア、そしてイランや北朝鮮だ。

4月末にリオデジャネイロで開催されたBRICS外相会合の直後に公表された議長声明には「無差別的な高率相互関税や非関税障壁を含むWTOルールと不整合で、正当化される事の無い程の不正で一方的な保護主義的手段(unjustified unilateral protectionist measures inconsistent with WTO rules, including indiscriminate raising of reciprocal tariffs and non-tariff measures)」という形で、暗に米国を批判する文章が挿入されている。

会合には11のBRICS加盟国と9のパートナー国、合計20カ国が参加して、その中にはマレーシアやタイ等のアジア諸国が含まれる。これに関し、シンガポールの或る友人は「東南アジア諸国を迂回した中国の対米輸出を警戒する事は理解出来る。だが、アジアの平和と繁栄に対して積極的に関与するという米国の意思をアジアが信じれないと感じた時、アジアの中小国家は中国側に益々傾いてゆく」と語った。

ロシアは、“特別軍事作戦(специальная военная операция (СВО))”が3年を過ぎた現在でも目的を達成する事が出来ず、苦戦が続いている(とは言え、歴史が示す通り、戦況を正しく判断する事は決して出来ない。ただ確実に言える事は、「不幸な戦争は未だ続く」と言う事だけなのだ)。

こうした中、プーチン大統領は3月末にムルマンスクで開催された国際会議(«Арктика – территория диалога»/The Arctic: Territory of Dialogue)で「ロシアは最大の北極圏国家(Россия – крупнейшая арктическая держава)」と語り、露北西部と極東をシベリア鉄道やバイカル・アムール鉄道を通じて繋いだ「北極圏回廊(Трансарктический коридор/Transarctic corridor)」構想について語った。これに関して、筆者は「北極圏回廊」は中国の「氷上のシルクロード(氷上丝绸之路/Ice Silk Road)」と如何なる関係になるのだろうか、と友人達に質問した次第だ(PDF版図4参照)。

また4月中旬にモスクワで開催された国際展示会では中国のエレクトロニクス関連企業が多数参加した事を知り、「こうした形で西側の最先端の電子機器が、我々の知らない間にロシアに流れていくかも?」と友人達に語った。

米中大国間競争は、政治経済社会の全ての次元において展開されている。

西太平洋を巡る動きが激しい—台湾海峡、東シナ海、南シナ海、そして黄海における中国の動きに関係諸国が神経を尖らせているのだ。台湾では現状維持派と親大陸派との間で政治的対立が激化している。立法院での与野党の対立、そして軍幹部や先端技術分野の専門家と大陸との親密な関係に警戒感が高まっている(PDF版の2参照)。しかし、そうした中でも市井の人々は未だ緊張感を感じていないらしい。台湾のthink tank(国防安全研究院(INDSR))が3月末に公表した世論調査(«國防安全民意調查»)によると、「回答者の僅か23%が人民解放軍(PLA)による5年以内の軍事侵攻を憂慮している」として、台湾政府による情報提供と一般市民に対する啓蒙策の必要性を提言している。

4月初旬にはPLA東部戦区が軍事演習(海峡雷霆-2025A)を実施した。平和を願う我々が油断禁物だ。日中交流は当然継続すべきだが、同時に米韓台比豪等関係諸国との連携を強化すべきである。こうした中、第一期トランプ政権時に国家安全保障問題担当大統領副補佐官だったボッティンジャー氏による編著書(The Boiling Moat: Urgent Steps to Defend Taiwan, Jul. 2024)の邦訳版・漢訳版が今年の2月に出版された(「煮えたぎる海峡: 台湾防衛のための緊急提言」; «沸騰の護城河: 保衛台灣的緊迫行動»)。今、同書を基に内外の友人達と議論を続けている。

同書の冒頭に記された2つの引用句は本当に素晴らしい。

「邊地之城…必將嬰城固守、皆為金城湯池、不可攻也(Cities along the frontier... must resolutely their defenses; protected by metal ramparts and boiling moats, they become impregnable)」(「漢書」卷四十五「蒯伍江息夫傳」)

“To be prepared for war is one of the most effectual means of preserving peace.” (George Washington, ‘First Annual Address to Congress,’ January 8, 1790)

経済摩擦は高関税の応酬(tit-for-tat)が加わったために一段と激化している。このtit-for-tat strategyは明らかに双方にとり自傷行為である。中国側の巧みな対外経済戦略手法に関しては、Georgetown大学のメディアロス氏等による論文(“China’s New Economic Weapon,” Spring, 2025)や小誌(169, 174号(2023年5, 10月)で触れたTufts大学のドレズナー教授やJohns Hopkins大学のファレル教授による本(The Uses and Abuses of Weaponized Interdependence, Mar. 2021)等を基に友人達と意見交換を行っている。メディアロス氏も前述の論文の冒頭で記したが、経済的威圧(economic coercion)は中国の常套手段(stock-in-trade)だ。筆者は、1931年9月、満洲事変勃発の経済的背景として中国側の経済的威圧があり、1932年10月の「リットン報告書(Lytton Report)」の中にも記されていると語った(現在は米国による経済的威圧の方が凄まじいが…)。

社会面での大国間競争で特筆すべきは科学分野だ。中華系の研究者は政府から現在厳しい眼で監視されている。非常に悲しい事態だ。勿論、軍民両用技術分野における研究者の活動・資金源は監視すべきだ。だが行き過ぎは禁物だ。こうした中、2022年9月の習近平主席の言葉を思い出している—科学には国境は無い。(しかし)科学者には祖国がある(科学无国界, 科学家有祖国)、と(小誌167号(2023年3月)参照)。そして今、4月7日にStanford大学が公表した“AI Index Report 2025”を基に、米中間AI開発競争を議論している(PDF版の表2-4参照)。

周知の通り現在、米国では別の次元で学術界が大騒動になっている。全米アカデミーズの有志が3月31日に、そして米国大学協会(AAC&U)が4月22日に、学術団体及び研究者に対する最近の政府の高圧的対応を問題視する意見を公表した(PDF版2参照)。

特に反ユダヤ的対応をしたという理由でHarvard大学やColumbia大学等が助成金の削減の危機に直面したのだ。米国の歴史に詳しい人ならご存知の通り、長年米国は反ユダヤ的社会であった。従ってHarvardやColumbiaも第二次大戦までは「明らかな」反ユダヤ的だった。

1933年から1953年まで19年余りHarvard大学を管理運営したジェイムズ・コナント学長も反ユダヤ主義者であった事は有名だ。筆者は米国の或る教授から、ノーベル経済学賞受賞者のサミュエルソン教授がユダヤ人である理由から就職時に苦労した事を聞いた事がある。またNazi Germanyから逃れてきた優れた法学者であるハンス・ケルゼン教授は、1940年にHarvard大学の名誉ある講座(Oliver Wendell Holmes Lectures)を担当し、著書(Law and Peace in International Relations)を残した。この講座の担当者はHarvard大学教授の職が与えられる事が当然視されていた。にも拘わらず、コナント学長は認めなかった。またそれ以前の1934年5月、独海軍軽巡洋艦「カールスルーエ」のボストン寄港時、ナチ党員である独海軍将兵を歓迎する式典に、コナント学長を含む大学教授や学生、更にはマサチューセッツ州知事やボストン市長が参加したのだ。勿論、コナント学長“だけ”を非難するつもりはない。当時の社会の反ユダヤ思想が問題だったのだ。

当然の事だが、現在のHarvardやColumbiaは上述したような戦前の状態ではない。将来に向けて、米国の優れた大学が哲学思想、芸術、そして科学分野で引き続き世界をリードする研究をしてくれる事を願っている。

今年は第二次大戦終結80周年を迎える。これを記念して各地で様々な行事が開催されている。

80年前の出来事だが、戦争に絡んだ憤怒と苦悶は人の頭と心からは簡単には消え去らない。4月16日、ベルリンから約70km離れた街ゼーロウで記念式典が開催された。80年前の4月16日から4日間、首都ベルリンへと進撃する赤軍とそれを阻止する独軍との間で激戦が繰り返されたのがゼーロウ高地だ。現在、ドイツ政府は記念式典にロシア及びベラルーシの外交官を招待する事を控えている。だが、ネチャーエフ露大使が式典に参列したのだ。独Die Zeit誌に依れば、露大使は招待を受けずに参列したが、参列自体は拒否されなかった。その事をウクライナ政府が問題視したらしい。人間の心は複雑だ—80年前の事を思い出して憤る人もいれば、覚えていても沈黙する人がいる。忘れてしまった人もいれば、知らない人がいる。そして今、80周年式典がどこかで開催されている間、どこかで戦争が行われている。

4月7日は、戦艦「大和」はじめて10隻の水上艦隊が出撃し、徹底的な敗北に終わった日から80年を迎えた日だ。少年の時から何度も戦艦「大和」のプラモデルを作成しただけに忘れられない日でもある。約20年前、アナポリスの米国海軍兵学校の博物館を訪問した時、素晴らしい「大和」の模型があった事を記憶している。美しい「大和」の姿とは異なり、80年前の4月7日の海戦は悲惨なものであった。海戦で撃墜された米軍機は僅か5機(その他損失が8機)。帝国海軍の損害は「大和」はじめて6隻が沈没。悲惨極まりない完敗だ。

米軍は暗号解読と潜水艦による偵察で「大和」出撃の直後から動きを観察していた。また帝国海軍の対空火器は電子式でなく光学式で、しかも高射砲の砲弾は近接信管ではなく旧式の時限信管だ。これでは米軍機を撃墜する事は難しい。日米両軍ともプロの軍隊であるが、二軍対一軍の対決みたいなものである。精神主義が科学的な合理主義を圧倒していた当時の帝国海軍の最期は実に悲しい。

戦前Princeton大学に留学し、敗戦時には情報将校だった實松讓大佐は、この4月7日の海戦に関して、戦後、次のように記している—「目的地到達前に壊滅することは、ほとんど決定的」で、「傘もあたえずに豪雨の中をぬれずに通れと要求する」作戦であり、それは「狼の大群とライオンを押しつけて、猟犬に虎穴にはいれ」 という「シロウト目にも不可能と思われる自殺行為」であったのだ。

The Tokyo-Cambridge Gazette (In Search of Japan's Global Strategies)

No. 193 (May 2025)

如何なる国においても、国の中で最も有能な人物を見出して、その人を最高位に登らせ、誠心誠意その人を尊敬すれば、国としては完全な政治が得られる。… このような国は完全な状態にあり、理想の国家である。最優秀の人とは最も真心の有る人で、また最も公正でしかも最も気高き人物である。… そうなれば我等の行為と生活は、政治が律し得る範囲に於いて、十分律せられる事であろう。これこそが憲法が理想とするところなのだ。だが、悲しいかな、我等の熟知するところ、現実的な話として理想が完全な形で達成される世界とは、常に遑遑の彼方に存在するのだ。従って我等は幾分我慢出来る程度にこれに接近する状態を以て、大いに感謝して満足する事にしよう。

(トーマス・カーライル)

Find in any country the Ablest Man that exists there; raise him to the supreme place, and loyally reverence him: you have a perfect government for that country. . . . It is in the perfect state; an ideal country. The Ablest Man; he means also the truest-hearted, justest, the Noblest Man. . . . Our doing and life were then, so far as government could regulate it, well regulated; that were the ideal of constitutions. Alas, we know very well that Ideals can never be completely embodied in practice. Ideals must ever lie a very great way off; and we will right thankfully content ourselves with any not intolerable approximation thereto!

(Thomas Carlyle)

2. 情報概観 紙面の制約上、原則、参考になると筆者が判断した最新情報のみを掲載し解説や関連資料は一切省略。

マクロ経済: Macroeconomics—Books, Papers, and Articles

Asian Development Bank (ADB), 2025, “Asian Development Outlook: Trade Uncertainty Challenges Resilience in Asia and the Pacific,” Manila, April.
Bernstein, Jared and Dean Baker, 2025, “Tariffs Won’t Bring a Boom in American Manufacturing,” *Wall Street Journal*, March 26.
Bloomberg (Mia Glass and Masaki Kondo), 2025, “Japan Confronts Biggest Bond Loss Globally as BOJ Rate Hikes Upend Market,” March 30.
Bouët, Antoine *et al.*, 2025, “Towards a Trade War in 2025: Real Threats for the World Economy, False Promises for the US,” Working Paper No. 2025-03, Paris: Center d’Études Prospectives et d’Informations Internationales (CEPII), February.
Economist, 2025, “Trump Takes America’s Trade Policies Back to the 19th Century,” April 3.
Economist, 2025, “Why China Thinks It Might Win a Trade War with Trump,” April 8.
El-Erian, Mohamed, 2025, “US Tariff Shock Underscores the Instability of a Shifting World,” *Financial Times*, April 3.
Financial Times (Roula Khalaf and Leo Lewis), 2025, “Japan Has Not Yet Conquered Deflation, Finance Minister Warns,” March 23.
Financial Times (Editorial), 2025, “Faulty Data Leaves Britain in the Dark,” April 2.
Kolev-Schaefer, Galina *et al.*, 2025, „Trumps Liberation Day: Eine kurze ökonomische und handelspolitische Bewertung“, IW-Report 17/2025, Cologne: Institut der deutschen Wirtschaft (IW) (German Economic Institute), April.
Mishkin, Frederic S. and Michael Kiley, 2025, “The Evolution of Inflation Targeting from the 1990s to the 2020s: Developments and Challenges,” NBER Working Paper No. 33585, March.
Navarro, Peter, 2025, “Donald Trump’s Tariffs Will Fix a Broken System,” *Financial Times*, April 7.
Posen, Adam S., 2025, “Trade Wars Are Easy to Lose,” *Foreign Affairs*, April 9.
Reuters, 2025, “US Treasury Secretary: No Risk of China Weaponizing Treasuries despite Bond Market Volatility,” April 16.
Rogoff, Kenneth, 2025, *Our Dollar, Your Problem: An Insider’s View of Seven Turbulent Decades of Global Finance, and the Road Ahead*, New Haven, CT: Yale University Press, May.
Tett, Gillian, 2025, “How to Make Sense of Donald Trump’s Tariff,” *Financial Times*, April 3.
United States Government, Federal Reserve System, 2025, “The Beige Book,” Washington, D.C., April 17.
Wall Street Journal (Nick Timiraos *et al.*), 2025, “Corporate America’s Euphoria over Trump’s ‘Golden Age’ Is Giving Way to Distress,” March 25.
Wall Street Journal (Editorial), 2025, “Trump’s New Protectionist Age [特朗普的新保护主义时代],” April 3.
Wall Street Journal (Liza Lin and Brian Spegele), 2025, “Xi’s Message in Rare Meeting with Global CEOs: Defend Trade [习近平在一场罕见会面中向全球 CEO 传递的讯息: 捍卫贸易],” March 28.
Wall Street Journal (Nick Timiraos), 2025, “Trump’s Tariffs Aim to Create a New World Economic Order,” April 3.
Wall Street Journal (Joseph De Avila), 2025, “Yellen Calls Trump Tariff Plan ‘the Worst Self-Inflicted Wound That I Have Ever Seen,’” April 10.
Washington Post, 2025, “Letters to the Editor: Trump Needs an Economics 101 Class. His Tariffs Won’t ‘Liberate’ Us,” April 1.
Washington Post (Jeff Stein *et al.*), 2025, “Trump Announces Pause in ‘Reciprocal’ Tariffs for All Countries but China,” April 9.
Wolf, Martin, 2025, “Trump’s Tariffs Will Damage the World,” *Financial Times*, April 8.

マクロ経済: Macroeconomics—Conferences, Workshops and Seminars

April 9: (Brussels) Bruegel: “Conference on Globalisation and Geo-economic Fragmentation.”
April 11: (San Juan, Puerto Rico) Puerto Rico Chamber of Commerce: “A Conversation with New York Fed President John C. Williams.”
April 15: (Washington, D.C.) Peterson Institute for International Economics (PIIE): “Global Economic Prospects: Spring 2025.”
April 24: (Washington, D.C.) Peterson Institute for International Economics (PIIE): “Review of Monetary Policy Strategy by Central Banks.”

資源・エネルギー・環境: Resources, Energy, and Environment—Books, Papers, and Articles

Financial Times (Ilya Gridneff), 2025, “Canada Races to Secure Its Arctic Frontier,” March 26.
Gilli, Andrea and Mauro Gilli, 2025, “The Hunt for Red October in Warmer Oceans: Climate Change and Anti-Submarine Warfare,” Outlook No. 64, Rome: NATO Defense Collage, March.
Reuters (Ernest Scheyder and Jarrett Renshaw), 2025, “Exclusive: White House Weighs Executive Order to Fast-Track Deep-Sea Mining, Sources Say,” April 1.
Reuters (Kate Abnett), 2025, “EU Plan to End Russian Oil and Gas Imports Due Out in May,” April 15.
Schenuit, Felix and Domenik Treß, 2025, „Eine »Kurzfriststrategie Negativemissionen«: Politikoptionen für den Hochlauf von CO2-Entnahme“, SWP-Aktuell Nr. 10, Berlin: Stiftung Wissenschaft und Politik (SWP), March.
Wall Street Journal (Jon Emont), “How China Beat Out the U.S. to Become the Top Player in Rare-Earths Refining [中国何以击败美国成为稀土精炼第一强国?],” March 24.

資源・エネルギー・環境: Resources, Energy, and Environment—Conferences, Workshops and Seminars

April 3: (a hybrid event, Brussels) Bruegel: “Making the Best of the New EU Social Climate Fund.”
April 24: (Washington, D.C.) Congress, U.S.-China Economic and Security Review Commission (USCC): Hearing on “China’s Domestic Energy Challenges and Its Growing Influence over International Energy Markets.”

外交・安全保障: Diplomacy and National Security—Books, Papers, and Articles

ABS-CBN (Bianca Dava *et al.*), 2025, “Captured Underwater Drone Sent Messages to China: Philippine Military,” April 15.
Air and Space Forces Magazine (Chris Gordon), 2025, “America’s First Unmanned Fighters Are Here: YFQ-42 and YFQ-44,” March 3.
Airforce Times (Stephen Losey), 2025, “Space Force Commander Fired after Email DOD Says ‘Undermined’ JD Vance,” April 12.
Associated Press (Lea Skene), 2025, “Judge Blocks DOGE from Accessing Sensitive Information at US Agencies,” March 25.
Atlantic (Jeffrey Goldberg), 2025, “The Trump Administration Accidentally Texted Me Its War Plans,” March 24.
Australian Broadcasting Corporation (ABC), 2025, “Coalition and Labor Pledge to Retake Control of Chinese-Controlled Port of Darwin,” April 4.

The Tokyo-Cambridge Gazette (In Search of Japan's Global Strategies)

No. 193 (May 2025)

時分にも恐るべし。去年(こぞ)盛(さか)りあらば、今年は花なかるべきことを知るべし。時の間(ま)にも、男時(おととき)・女時(めとき)とてあるべし。いかにすれども、能(よ)にも、よき時あれば、かならず悪きことまたあるべし。
(世阿彌)

You should be exceedingly mindful of heaven-sent opportunities. You should know that if you were in your prime last year, you will likely not have the Flower this year. At intervals there will be moments of good luck and moments of bad luck. No matter what you do, if there are good moments in Noh.

(Zeami, a Japanese Noh actor and playwright (c. 1363–c. 1443))

- Becker, Max *et al.*, 2025, „Europas Handlungsfähigkeit in der Außen- und Sicherheitspolitik stärken (Strengthening Europe's Capacity to Act in Foreign and Security Policy)“, SWP-Studie 2025/A11, Berlin: Stiftung Wissenschaft und Politik (SWP) (German Institute for International and Security Affairs), March.
- Blanchette, Jude, 2025, “China Sees Opportunity in Trump's Upheaval: Beijing's Strategy for Pursuing a Deal While Managing the Risks of Disorder,” *Foreign Affairs*, March 27.
- Bloomberg (Sakura Murakami), 2025, “Japan Protests China's Description of Ishiba and Wang Meeting,” March 24.
- Bloomberg (Ritsuko Ando), 2025, “China Holds Off Deals with Li Ka-shing after Panama Ports Deal,” March 27.
- Bloomberg (Volodymyr Verbiianyi), 2025, “US Seeks to Control Ukraine Investment, Squeezing Out Europe,” March 27.
- Bloomberg (Alastair Gale), 2025, “Hegseth Says US Is Upgrading Japan Ops to War-Fighting Command,” March 30.
- Brands, Hal, 2025, “Trump Is Facing Six Wars, and He's Losing All of Them,” *Bloomberg*, April 24.
- British Broadcasting Corporation (BBC) (Steve Rosenberg), 2025, “Rosenberg: Putin Nods to Trump Plans to Seize Greenland,” March 28.
- British Broadcasting Corporation (BBC) (Jessica Murphy *et al.*), 2025, “Canada PM Mark Carney Says Old Relationship with US 'Is Over,’” March 28.
- British Broadcasting Corporation (BBC) (Natalie Sherman), 2025, “Trump to Charge High Tariffs on 'Worst Offenders' Globally,” April 3.
- Budget Lab at Yale, 2025, “Where We Stand: The Fiscal, Economic, and Distributional Effects of All U.S. Tariffs Enacted in 2025 Through April 2,” New Haven, CT, April 2.
- Cable News Network (CNN) (Max Saltman), 2025, “US-Canada Relationship Faces Fundamental Change amid Trade Threats, Canadian PM Warns,” March 27.
- Cable News Network (CNN) (Nectar Gan and Eric Cheung), 2025, “China's Military Launches Live-Fire Exercise in Escalation of Blockade Drills near Taiwan,” April 2.
- Cable News Network (CNN) (Svitlana Vlasova and Lauren Kent), 2025, “Ukraine Says It Captured Two Chinese Nationals Fighting in Russian Army,” April 8.
- Cable News Network (CNN) (Nectar Gan), 2025, “China Rejects Trump's Claim That Xi Has Called Him by Phone,” April 28.
- Campbell, Kurt M. and Rush Doshi, 2025, “Underestimating China,” *Foreign Affairs*, Vol. 104, No. 3 (May/June), pp. 66-81.
- Canadian Broadcasting Corporation (CBC) (Catharine Tunney), 2025, “Carney and Trump Speak, Agree to Meet in Person Following Liberal Minority Win,” April 29.
- Caverley, Jonathan *et al.*, 2025, “A Transatlantic Defense Industrial Base? Two Contrasting Views”, Focus stratégique, No. 124, Paris: Institut français des relations internationales (Ifri), March.
- Chinese Government, Guówùyuàn (State Council/国务院), Shāngwùbù (Ministry of Commerce/商务部), 2025, “Shāngwùbù Zhàokāi Méizī Qiyè Yuánzhuōhuì [The Ministry of Commerce holds a roundtable meeting with US companies/商务部召开美资企业圆桌会],” Beijing, April 7.
- Chosun Daily (Yang Ji-hea *et al.*), 2025, “South Korean Parties Unite in Rare Rebuke of China's Maritime Expansion,” March 26.
- Corinth, Kevin and Stan Veuger, 2025, “President Trump's Tariff Formula Makes No Economic Sense. It's Also Based on an Error,” Washington, D.C. American Enterprise Institute (AEI), April 4.
- Cooper, Julian, 2025, “Preparing for a Fourth Year of War: Military Spending in Russia's Budget for 2025,” Insights on Peace and Security No. 2025/04, Solna: Stockholm International Peace Research Institute (SIPRI), April.
- Daalder, Ivo H., 2025, “NATO without America: How Europe Can Run an Alliance Designed for U.S. Control,” *Foreign Affairs*, March 28.
- Dayant, Alexandre and Grace Stanhope, 2025, “Hedging Bets: Southeast Asia's Approach to China's Aid,” Sydney: Lowy Institute, March 26.
- De Bolle, Monica *et al.*, 2025, *The New Economic Nationalism*, Washington, D.C.: Peterson Institute for International Economics (PIIE), April.
- Defense News (Courtney Albon), 2025, “Anduril Unveils 'Copperhead' Line of Autonomous Underwater Vehicles,” April 7.
- Der Spiegel, 2025, „Habeck vergleicht Trumps Zölle mit Putins Angriff auf die Ukraine“, April 3.
- Deutschlandfunk, 2025, „Nach Angaben aus Kiew zwei chinesische Soldaten gefangen genommen“, April 8.
- Die Zeit, 2025, „EU empfiehlt jedem Haushalt Notfallvorrat für drei Tage“, March 26.
- Die Zeit, 2025, „Bundestag schließt Russland und Belarus von Weltkriegsgedenken aus“, April 17.
- Dunkelman, Marc J., 2025, *Why Nothing Works: Who Killed Progress—and How to Bring It Back*, New York: PublicAffairs, February.
- Economist, 2025, “Europe Will Have to Zip Its Lip over China's Abuses,” March 25.
- Economist, 2025, “Schooled by Trump, Americans Are Learning to Dislike Their Allies,” March 31.
- European Commission, 2025, “EU Preparedness Union Strategy to Prevent and React to Emerging Threats and Crises,” Brussels, March 26.
- Financial Times (Charles Clover *et al.*), 2025, “Trump Stirs Fears of a New Nuclear Arms Race,” March 23.
- Financial Times (Myles McCormick *et al.*), 2025, “Top US Officials Shared Classified Details of Military Strikes with Journalist,” March 24.
- Financial Times (Raphael Minder), 2025, “France and UK Now Leaders of Hard Power in Europe, Says Czech PM,” March 24.
- Financial Times (Demetri Sevastopulo and Leo Lewis), 2025, “Tokyo Frets about Durability of US Alliance Ahead of Visit by Pete Hegseth,” March 25.
- Financial Times (Editorial), 2025, “The Amateurism of the Trump White House,” March 25.
- Financial Times, 2025, “The Global Leaders Rising in the Polls as They Battle Donald Trump,” March 26.
- Financial Times (Richard Milne), 2025, “Sweden to Increase Defence Spending Sharply to 3.5% of GDP,” March 26.
- Financial Times (Kathrin Hille), 2025, “Taiwan Boosts Defence Readiness in Show to US and China,” March 26.
- Financial Times (James Politi and Richard Milne), 2025, “Donald Trump Says US Must Gain Control of Greenland,” March 28.
- Financial Times (Anna Gross), 2025, “‘I'm Not Mucking About': Farage Courts Reform Faithful at Local Election Campaign Launch,” March 29.
- Financial Times (Kathrin Hille), 2025, “China Launches Large-Scale Military Exercises around Taiwan,” March 31.
- Financial Times (Lucy Fisher), 2025, “Donald Trump Signs Off Chagos Islands Deal between UK and Mauritius,” April 1.
- Financial Times (Editorial), 2025, “America's Astonishing Act of Self-Harm,” April 3.
- Financial Times (Helen Warrell), 2025, “Meet the Warriors Trying to Teach the West How to Fight in the Arctic,” April 3.
- Financial Times (Delphine Strauss and Peter Foster), 2025, “Donald Trump and the Long History of 'Sticky' US Tariffs,” April 5.
- Financial Times (Leo Lewis and Harry Dempsey), 2025, “Japan Set for 'Guinea Pig' Trade Talks with US after Donald Trump's Tariffs,” April 16.
- Fishman, Edward, 2025, *Chokepoints: American Power in the Age of Economic Warfare*, New York: Portfolio, February.
- Fox News (Alex Nitzberg), 2025, “Trump Says Income Tax Cuts, and Perhaps Elimination, Coming Due to Tariffs,” April 28.
- France24, 2025, «Deux soldats chinois arrêtés en Ukraine, Zelensky demande des explications à Pékin», April 8.
- Freeman, James, 2025, “Elon Musk and the American Majority: Most People Understand That the Government Spends Too Much,” *Wall Street Journal*, April 1.
- Fuhrhop, Pia, 2025, „Rüstungsexporte als Instrument deutscher Sicherheitspolitik“, SWP-Studie 2025/S07, Berlin: Stiftung Wissenschaft und Politik (SWP) (German Institute for International and Security Affairs), April.
- Gazeta.ru («Газета.ру») (Dmitry Shumov (Дмитрий Шумов)), 2025, «Журналист случайно попал в закрытый чат высших чиновников США. Он назвал переписку «шокирующе безрассудной» [Journalist accidentally got into private chat of top US officials. He called the correspondence 'shockingly reckless']», March 25.
- Gazeta.ru («Газета.ру»), 2025, «Парламент Армении принял закон о вступлении в Евросоюз [Armenian Parliament Adopts Law on EU Accession]», March 26.

現実の国際政治の勢力均衡は、如何なる時代でも当然の事ながら、経済的にも戦略的にも、The actual balance of political power at any given time is, of course, the product, on the one hand, of geographical conditions, both economic and strategic, and, on the other hand, of the relative number, virility, equipment, and organization of the competing peoples. In orerの意味で地理的条件に規定された産物である。また別の意味では競合する国民の間での人口、生気、設備、組織の相対的差異に規定された産物である。そうした量的指標が正確に推計される事が出れば、武力という残忍な方法に頼る事なく、勢力均衡上の比率調整が出来るであらう。proportion as these quantities are accurately estimated are we likely to adjust differences (ハルフォード・マッキンダー) without the crude resort to arms. (Halford John Mackinder)

- Gericke, Bradley T., 2025, "Win Fast or Lose Big against China," Issue Brief, Scowcroft Center for Strategy and Security, Atlantic Council, April 10.
- Goddard, Stacie E., 2025, "The Rise and Fall of Great-Power Competition," *Foreign Affairs*, Vol. 104, No. 3 (May/June), pp. 8-23.
- Guāncházhě Wǎng/Guanchazhe Wang (《观察网》) (Wáng Shìchún/王世纯), 2025, "Tái Jūn Chēng Tái Tǎnkè Dēnglùjiàn hé Dàlù Yúchuán Xiāngzhuàng Yúchuan Pǎole [Taiwan military says Taiwan tank landing ship collided with mainland fishing boat, fishing boat escaped/台军称台坦克登陆舰和大陆渔船相撞 渔船跑了]," March 27.
- Guāncházhě Wǎng/Guanchazhe Wang (《观察网》) (Liú Bái/柳白), 2025, "Měi Méi Pùguāng Wǔjiāodàlòu Mimi Bèiwànglù: Yōuxiān Wēishè Zhōngguó, Èluósī Wēixié Yóu Ōuzhōu Fùzè [US media exposes secret Pentagon memo: Deterring China first, Europe is responsible for Russian threats/美媒曝光五角大楼秘密备忘录: 优先威慑中国, 俄罗斯威胁由欧洲负责]," March 30.
- Heilbrunn, Jacob, 2025, "Why is Vladimir Putin Encouraging Donald Trump's Greenland Ambitions?" *National Interest*, March 28.
- Hill (Alexander Bolton), 2025, "Senate Confirms Trump's Controversial Pick for Pentagon No. 3 Job," April 8.
- Huánqiú Shíbào/Huanqiu Shibao (Global Times/《环球时报》) (Lǐ Méng/李萌), 2025, "Měi Fángzhǎng Shēngchēng 'Wǔshì Guójiā' Rìběn duìyú Yíngduì Zhōngguó 'Qīnlüè' Bùkě huò Quē, Zhōngfāng Bóchì! [The US Secretary of Defense claimed that the 'samurai nation' Japan is indispensable in responding to China's 'aggression', and China refuted it! 美防长声称'武士国家'日本对于应对中国'侵略'不可或缺, 中方驳斥!]," March 31.
- Institute for National Defense and Security Research (INDSR) (Guófāng Ānquán Yánjiùyuan/國防安全研究院), 2025, "Guófāng Ānquán Mínyì Diàochá: Cóng Míndiào Kàn Mínzhòng Wēixié Gǎnzhīde Xīn Qūshì [National Defense Security Public Opinion Survey: New Trends in Public Threat Perception from Public Opinion Surveys/國防安全民意調查: 從民調看民眾威脅感知的新趨勢]," Taipei (臺北), March
- Isestadt, Alex, 2025, *Revenge: The Inside Story of Trump's Return to Power*, New York: Grand Central Publishing, March.
- Karlin, Mara, 2025, "The Pentagon Can't Be Run Like a Business," *Foreign Affairs*, April 24.
- Krelin, Michael, 2025, "An Introduction to Military Quantum Technology for Policymakers," Background Paper, Solna: Stockholm International Peace Research Institute (SIPRI), March.
- Lapsley, Angus and Pierre Vandier, 2025, "Why NATO's Defence Planning Process Will Transform the Alliance for Decades to Come," Issue Brief, Washington, D.C.: Scowcroft Center for Strategy and Security, Atlantic Council, March 31.
- Le Figaro (Solène Vary), 2025, "Force de réassurance, mission franco-britannique, pas de levée des sanctions... Ce qu'il faut retenir des déclarations d'Emmanuel Macron," March 27.
- Le Temps (AFP), 2025, "Un journaliste de «The Atlantic» reçoit par accident un plan d'attaque secret du Pentagone," March 24.
- Liú, Gē/Liu, Ge (刘戈) *et al.*, 2025, "'Guǒ liàn' shēn zhí yàzhōu jiēshì zēnyàngde xiànsí? ['果链'深植亚洲揭示怎样的现实?/Real deep roots of the 'Apple supply chain'].," *Huánqiú Shíbào/Huanqiu Shibao* (Global Times/《环球时报》), April 30.
- Liu, Zongyuan Zoe (刘宗媛), 2025, "How China Armed Itself for the Trade War," *Foreign Affairs*, April 29.
- Maçães, Bruno, 2025, *World Builders: Technology and the New Geopolitics*, New York: Cambridge University Press, February.
- McNamara, Whitney M. *et al.*, 2025, "Atlantic Council Commission on Software-Defined Warfare: Final Report," Washington, D.C.: Scowcroft Center for Strategy and Security, Atlantic Council, March.
- Mead, Walter Russell, 2025, "Trump's Greenland Gambit," *Wall Street Journal*, March 31.
- Military Times (Leo Shane III), 2025, "Top Trump Officials Accidentally Shared War Plans with Media," March 25.
- Military Times (Lolita C. Baldor and Lisa Mascaro), 2025, "Trump Fires 4-Star General Heading NSA, US Cyber Command," April 4.
- Naval News (Jeffrey Maitem), 2025, "Philippines and U.S. Kick Off Balikatan 2025 Large-Scale Exercise," April 22.
- New York Times (Greg Jaffe), 2025, "Hegseth Closes Pentagon Office Focused on Future Wars," March 14.
- New York Times (Erica L. Green), 2025, "Trump Says He's Serious about the Idea of a Third Term as President," March 30.
- New York Times (David E. Sanger and Nick Corasaniti), 2025, "Trump Weakens U.S. Cyberdefenses at a Moment of Rising Danger," April 5.
- New York Times (Greg Jaffe *et al.*), 2025, "Hegseth Said to Have Shared Attack Details in Second Signal Chat," April 20.
- Norddeutscher Rundfunk (NDR) (Johannes Koch und Jule Lampe), 2025, „Kehren wir zurück zur Wehrpflicht? Und: Geht das überhaupt?“, April 25.
- Nye, Joseph S., Jr., 2025, "Trump Is Liquidating America's Reserves of Soft Power," *Washington Post*, March 25.
- Philstar Global (AFP), 2025, "Military Chief Says Philippines 'Inevitably' Involved If Taiwan Invaded," April 1.
- Politico.com (Megan Messerly and Victoria Guida), 2025, "Bessent Privately Urges Caution as Trump Attacks Powell," April 17.
- RBC.ru (《РБК》), 2025, «Японская ассоциация по северным территориям стала нежелательной в России [Japanese association for Northern Territories has become undesirable in Russia]», April 7.
- Rénmín Wǎng/Renmin Wang (《人民网》), 2025, "Guówùyuàn Guānshuì Shuizé Wēiyuánhui Guānyú Tiáozhēng duì Yuánchǎn yú Měiguóde Jīnkǒu Shāngpǐn Jiāzhēng Guānshuì Cuòshīde Gōnggào [Announcement of the State Council Tariff Commission on Adjusting the Tariff Measures on Imports from the United States/国务院关税税则委员会关于调整对原产于美国的进口商品加征关税措施的公告]," April 9.
- Rénmín Wǎng/Renmin Wang (《人民网》), 2025, "Zhōngyāng Zhōubīan Gōngzuò Huìyì zài Běijīng Jǔxíng Xí Jīnpíng Fābiào Zhōngyāo Jiǎnghuà [The Central Peripheral Work Conference was held in Beijing and Xi Jinping delivered an important speech/中央周边工作会议在北京举行 习近平发表重要讲话]," April 9.
- Reuters, 2025, "China Rolls Out New Rules to Step Up Countermeasures to Foreign Sanctions," March 24.
- Reuters, 2025, "South Korea Installs Platform to Monitor Chinese Presence in Disputed Sea," March 26.
- Reuters (David Ljunggren), 2025, "Canada Will React to Trump's 'Attack' Soon, Could Impose Tariffs, Says Carney," March 27.
- Reuters, 2025, "Taiwan Navy Ship and Chinese Fishing Boat Collide, No Injuries Reported," March 27.
- Reuters (Andrea Shalal), 2025, "'Pissed Off' at Putin, Trump Threatens Tariffs on Russian Oil If Moscow Blocks Ukraine Deal," March 31.
- Reuters, 2025, "The US Will Not Take Over Greenland, Danish PM Says," April 3.
- Reuters, 2025, "Norway Plans \$56 Billion Defence Boost to Counter Russia," April 5.
- Reuters, 2025, "US Says Chinese Satellite Firm Is Supporting Houthi Attacks on US Interests," April 18.
- Russian Government, 2025, «Международный форум «Арктика – территория диалога» [International Forum «The Arctic – Territory of Dialogue»], Moscow, March 27.
- South China Morning Post (Stephen Chen), 2025, "China Unveils a Powerful Deep-Sea Cable Cutter That Could Reset the World Order," March 22.
- Spektor, Matias, 2025, "The Limits of Trump's Hardball Diplomacy: Why the Western Hemisphere Is Turning Away from America and Toward China," *Foreign Affairs*, April 1.
- Stars and Stripes (Alison Bath), 2025, "Navy Jets Intercept Russian Spy Plane Near Aircraft Carrier USS Carl Vinson," March 29.
- Stavridis, James, 2025, "Five Signs That the US and China Will Go to War," *Bloomberg*, April 16.
- Summers, Lawrence H., 2025, "If Powerful Places Like Harvard Don't Stand Up to Trump, Who Can?" *New York Times*, April 3.
- Taipei Times, 2025, "Cambodia Hails Opening of China-Renovated Base," April 6.
- Trofimov, Yaroslav, 2025, "As the U.S. Alienates Old Friends, China Is Ready to Reap the Benefits [美国疏远昔日盟友, 中国准备好从中获益]," April 11.
- United States Government, Department of Commerce, Bureau of Industry and Security (BIS), 2025, "Commerce Further Restricts China's Artificial Intelligence and Advanced Computing Capabilities," Washington, D.C., March 26.

The Tokyo-Cambridge Gazette (In Search of Japa’s Global Strategies)

No. 193 (May 2025)

屈原曰「世を挙げて皆濁れるに、我独り清(す)めり。衆人皆酔へるに、我独り醒めたり。是(ここ)を以て放たる」、と。
漁父(ギョホ)曰く「聖人は物に凝滞(ギョウタイ)せずして、能く世と推移す。世人皆濁らば、何ぞ其の泥を濯(に)して、其の波を揚げざる。衆人皆酔はば、何ぞ其の糟(かす)を餉(くら)ひて、其の醢(しる)を飲(すす)らざる。何の故に深く思ひ高く挙がり、自ら放たれしむるを為すや」、と。

(『楚辞』)

Qū Yuán said “This world is polluted; I am only pure. The masses are drunk; I am only sober. You see I’m expelled.”

The elder fisherman said “Saints, instead of being obsessed with trivial things, would rather choose to get along with the world. When people in the world are polluted, why don’t you stir the mud and raise the muddy waves? When the masses are drunk, why don’t you eat wine lees and sip light wine? Why in the world are you thoughtfully particular about high-mindedness and trying intentionally to make yourself expelled?”

[屈原曰「衆世皆濁我獨清。眾人皆酔我獨醒。是見放」。

魚父曰「聖人皆凝滞於物而能舉世推移。世人皆濁何不濯泥而揚其波。眾人皆酔何不餉其糟而飲其醢。何顧深想思高舉自令放為?」]

(Chǐcí「楚辭」, an ancient anthology of Chinese poetry)

- United States Government, Department of Defense, 2025, “United States–Philippines Joint Statement on Secretary Hegseth’s Inaugural Visit to the Philippines,” Arlington, VA, Marc 28.
- United States Government, Department of Defense, Department of the Navy, Indo-Pacific Command (USINDOPACOM), 2025, “U.S. Indo-Pacific Command Representatives Meet with China Counterparts at Military Maritime Consultative Agreement Working Group,” Arlington, VA, April 3.
- United States Government, Department of State, 2025, “G7 Foreign Ministers’ Statement on China’s Large-Scale Military Drills around Taiwan,” Washington, D.C., April 6.
- United States Government, Department of the Treasury, 2025, “Treasury Secretary Scott Bessent Remarks before the American Bankers Association,” Washington, D.C., April 9.
- United States Government, Office of the Director of National Intelligence (DNI), 2025, “Annual Threat Assessment of the U.S. Intelligence Community,” Washington, D.C., March.
- United States Government, White House, 2025, “Fact Sheet: President Donald J. Trump Declares National Emergency to Increase our Competitive Edge, Protect Our Sovereignty, and Strengthen Our National and Economic Security,” Washington, D.C., April 1.
- United States Government, White Houe, 2025, “Regulating Imports with a Reciprocal Tariff to Rectify Trade Practices that Contribute to Large and Persistent Annual United States Goods Trade Deficits: Executive Orders,” Washington, D.C., April 2.
- USNI News (Dzirhan Mahadzir), 2025, “UPDATED: USS Nimitz in the Philippine Sea; U.S. Destroyer Makes Taiwan Strait Transit,” April 27.
- Vittori, Jodi, 2025, “Is America a Kleptocracy?” *Foreign Policy*, March 25.
- Wall Street Journal (Alistair MacDonald and Noemie Bisserbe), 2025, “This Missile Maker Is Racing to Rearm Europe,” March 17.
- Wall Street Journal (Alistair MacDonald and Ievgeniia Sivorka), 2025, “All-Robot Assault Opens New Chapter in Front-Line Warfare,” March 17.
- Wall Street Journal (Rebecca Feng and James T. Areddy), 2025, “How a Renowned Hong Kong Tycoon Ended Up on Beijing’s Bad Side over Panama Canal Deal [香港大亨李嘉誠如何因巴拿馬港口交易招致北京不滿?],” March 20.
- Wall Street Journal (Scott Calvert and Harriet Torry), 2025, “Why Many Americans Are on Board with Federal Worker Firings,” March 21.
- Wall Street Journal (Meridith McGraw and Natalie Andrews), 2025, “Vince Haley Is the Most Influential Trump Adviser You’ve Probably Never Heard Of,” March 21.
- Wall Street Journal (Joyu Wang and Austin Ramzy), 2025, “China Is Ready to Blockade Taiwan. Here’s How [中国为封锁台湾做好了哪些准备?],” March 23.
- Wall Street Journal (Editorial), 2025, “What the Trump War-Plan Chat Reveals,” March 24.
- Wall Street Journal (Daniel Michaels *et al.*), 2025, “Trump Prompts European Calls for a Homegrown Nuclear Umbrella,” March 24.
- Wall Street Journal (Gabriele Steinhauser), 2025, “The U.S. Missile Launcher That Is Enraging China [美国‘堤丰’导弹系统何以激怒中国?],” March 25.
- Wall Street Journal (Daniel Michaels *et al.*), 2025, “Europe Confronts Reality That Vance’s Hostility Is More Than Just a Show,” March 26.
- Wall Street Journal (Timothy W. Martin and Gabriele Steinhauser), 2025, “Hegseth Tells Asian Allies: We’re with You against China [美国国防部长告诉亚洲盟友：我们与你们一起对抗中国],” March 28.
- Wall Street Journal (Timothy W. Martin *et al.*), 2025, “How a New Axis Called CRINK Is Working against America [新敌对轴心 CRINK 正如何对抗美国?],” March 28.
- Wall Street Journal (Jonathan Cheng *et al.*), 2025, “Taiwan Dares to Hope Trump Will Back It against Beijing [特朗普政府频出抗中举动，台湾看到美国支持的希望],” March 29.
- Wall Street Journal (Jason Douglas and Tom Fairless), 2025, “Trump Tariffs Aim to Bring Down Curtain on Era of Globalization,” April 2.
- Wall Street Journal (Lingling Wei), 2025, “China Wanted to Negotiate with Trump. Now It’s Arming for Another Trade War [中国本想与特朗普谈判，现在却做好再打一场贸易战的准备],” April 5.
- Wall Street Journal (Editorial), 2025, “Canaries in the Trump Tariff Mine,” April 6.
- Wall Street Journal (Gerald Baker), 2025, “Trump Is Trashing America’s Reputation [日本語版：「米国の評判を地に落とすトランプ氏」],” April 7.
- Wall Street Journal (James Marson), 2025, “Ukraine Counts More Than 150 Chinese Citizens Fighting for Russia [乌克兰称俘获两名俄罗斯作战的中国公民],” April 9.
- Wall Street Journal (Dustin Volz), 2025, “In Secret Meeting, China Acknowledged Role in U.S. Infrastructure Hacks [中国在秘密会议上间接承认指使黑客攻击美国基础设施],” April 10.
- Wall Street Journal (Editorial), 2025, “Does Trump Have a China Trade Strategy?” April 10.
- Wall Street Journal (Jason Douglas *et al.*), 2025, “The U.S. and China Are Going to Economic War—and Everyone Will Suffer [美中要打经济战，全球将无一幸免],” April 11.
- Wall Street Journal (Gavin Bade and Brian Schwartz), 2025, “U.S. Plans to Use Tariff Negotiations to Isolate China [美国计划利用关税谈判来孤立中国],” April 15.
- Wall Street Journal (Austin Ramzy *et al.*), 2025 “Xi Fights Trump’s Tariffs with Global Charm Offensive [习近平在全球发起魅力攻势，应对特朗普关税威胁],” April 16.
- Wall Street Journal (Alexander Saedy and Josh Dawsey), 2025, “Trump Advisers Took Advantage of Navarro’s Absence to Push for Tariff Pause,” April 18.
- Wall Street Journal (Christopher M. Matthews), 2025, “Trump Endorses Covid ‘Lab Leak’ Theory on Government Websites about the Virus [特朗普在政府网站上认可新冠疫情实验室泄露论],” April 19.
- Wall Street Journal (Gavin Bade *et al.*), 2025, “White House Considers Slashing China Tariffs to De-Escalate Trade War [白宫考虑削减对华关税以缓和贸易战],” April 23.
- Wall Street Journal (Chun Han Wong), 2025, “In Vivid Video, Beijing Vows Not to ‘Kneel Down’ to Washington [中国外交部发布«不跪!»视频，暗示不会在贸易战中退缩],” April 29.
- Wall Street Journal (Greg Ip), 2025, “Canada’s Election Challenges Trump’s Theory of Trade War,” April 29.
- Washington Post (Todd C. Frankel and Hannah Natanson), 2025, “Why DOGE Is Struggling to Find Fraud in Social Security,” March 24.
- Washington Post (Robyn Dixon), 2025, “Russia Plays Down Swift Progress in Talks after Trump Envoy’s Optimism,” March 25.
- Washington Post (Michael Birnbaum), 2025, “Law Firms Refuse to Represent Trump Opponents in the Wake of His Attacks,” March 25.
- Washington Post (David J. Lynch), 2025, “Trump Escalates Global Trade War with New 25 Percent Automobile Tariffs,” March 26.
- Washington Post (Lily Kuo and Pei-Lin Wu), 2025, “Taiwan Reassured — and Surprised — by Pentagon Focus on Deterring China,” March 31.
- Washington Post (Lisa Rein *et al.*), 2025, “White House Studying Cost of Greenland Takeover, Long in Trump’s Sights,” April 1.
- Washington Post (Alex Horton and Hannah Natanson), 2025, “Secret Pentagon Memo on China, Homeland Has Heritage Fingerprints,” March 29.
- Washington Post (Siobhán O’Grady and Jeff Stein), 2025, “U.S. and Ukraine Announce Signing of Contentious Minerals Deal,” April 30.
- Wilson, Evan and Paul Kennedy, eds., 2025, *Planning for War at Sea: 400 Years of Great Power Competition*, Annapolis, MD: Naval Institute Press, February.

我々は経験を通じて人間関係に関する十分な知識を得る事が出来、しかも、その人間関係がどの程度熱情・激情に対し耐えるかを知る事が出来るのだ。その時に、我々は人間の寛大さが非常に限られたものと感じ、友人や家族、或いはせいぜい生まれた国の範囲を超えて、寛大さが減多に広がらない事を感じるのである。(デイヴィッド・ヒューム) When experience has once given us a competent knowledge of human affairs, and has taught us the proportion they bear to human passion, we perceive, that the generosity of men is very limited, and that it seldom extends beyond their friends and family, or, at most, beyond their native country. (David Hume)

- Wolf, Martin, 2025, "China Senses an Opportunity in Trump's Cultural Revolution," *Financial Times*, April 1.
Xinhua Wang/Xinhua Wang (Xinhuanet/«新华网»), 2025, "Bó'áo Yàzhōu Lùntán·Zhōngwài Zhuānjiā IN Bó'áo: ZhōngRì Qīyèjiā Duihuàhuì Shēnrù Jiāoliù Cù Hézuò [Boao Forum for Asia: Chinese and foreign experts IN Boao: China-Japan Entrepreneurs Dialogue to deepen exchanges and promote cooperation/博鳌亚洲论坛·中外专家 IN 博鳌: 中日企业家对话会 深入交流促合作]," March 27.
Zhōngyāng Tōngxùnshè/Zhongyang Tongxunshè (Central News Agency (CNA)/(中央通訊社)) (葉素萍), 2025, "Měi Duidēng Guānshuì Lài Zōngtōng Tí 5 Cèlǜ: Méiyóu Jihuà Cǎiqǔ Guānshuì Bàofù [US reciprocal tariffs: President Lai proposes 5 strategies: no plans to retaliate with tariffs/美對等關稅 賴總統提 5 策略: 沒有計劃採取關稅報復]," April 6.

外交・安全保障: Diplomacy and National Security—Conferences, Workshops and Seminars

- March 23~24: (Beijing) China Development Forum Foundation (CDRF) (中国发展研究基金会): "China Development Forum 2025 (中国发张高层论坛)."
March 25: (Washington, D.C.) Congress, Senate Select Committee on Intelligence: Hearing on "Worldwide Threats."
March 25: (Washington, D.C.) Congress, Senate Armed Services Committee, Subcommittee on Seapower: Hearing on "The State of Conventional Surface Shipbuilding."
March 25: (Washington, D.C.) Congress, Senate Armed Services Committee, Subcommittee on Cybersecurity: Hearing on "Artificial Intelligence Cyber Capabilities."
March 25~28: (Boao (博鳌), China) Boao Forum: "Boao Forum for Asia Annual Conference 2025 (博鳌亚洲论坛 2025 年年会)."
March 26~27: (Murmansk (Мурманск), Russia): Roscongress Foundation (Фонд Росконгресс): "International Arctic Forum (международный арктический форум)."
March 27: (an online event, Washington, D.C.) Center for a New American Security (CNAS): "The Future of Military Artificial Intelligence."
April 1: (Washington, D.C.) Congress, Senate Armed Services Committee: Hearing "to consider the nomination of: Lieutenant General John D. Caine, USAF (Retired) to Be General and Chairman of the Joint Chiefs of Staff."
April 2: (Washington, D.C.) Peterson Institute for International Economics (PIIE): "The Real Turning Point for Germany: Economic and Security Implications of the Merz Chancellorship."
April 3: (Washington, D.C.) Congress, U.S.-China Economic and Security Review Commission (USCC): Hearing on "The Rocket's Red Glare: China's Ambitions to Dominate Space."
April 11: (Sūzhōu (苏州)), Chinese Government, Guówùyuàn (State Council/国务院), Gōngyè hé Xīnxīhuàbù (Ministry of Industry and Information Technology (MIIT)/工业和信息化部): "Dì-qī-cì ZhōngRìHán Xīnxī Tōngxin Bùzhǎng Huìyì [The Seventh China-Japan-ROK trilateral ministerial conference on information and communication/第七次中日韩信息通信部长会议]."
April 14: (Brussels) Bruegel: "Rearming Europe: How to Fund and Govern Europe's Future Defence."
April 22: (Washington, D.C.) Georgetown University: "A New Geopolitical Era and US-China Competition."
April 24: (Singapore) Singapore Institute for International Affairs (SIIA): "Roundtable: Liberation or Disruption? Assessing the Impact of Trump's Tariff Policy on the Region."

その他—Information in Other Fields

- American Association of Colleges and Universities (AAC&U), 2025, "A Call for Constructive Engagement," Washington, D.C., April 22.
Associate Press (AP) (Mayuko Ono and Mari Yamaguchi), 2025, "Japanese Emperor Visits Iwo Jima to Honor the Dead in One of WWII's Fiercest Battles," April 7.
Baskaran, Gracelin and Meredith Schwartz, 2025, "The Consequences of China's New Rare Earths Export Restrictions," Washington, D.C.: Center for Strategic and International Studies (CSIS), April 14.
Bloomberg (Catherine Thorbecke), 2025, "Japan Urgently Needs an AI Vibe Shift," March 20.
Bloomberg (Henry Ren), 2025, "SAP Topples Novo to Become Europe's Biggest Listed Company," March 24.
Bloomberg (Danny Lee), 2025, "BYD Sales Top Tesla as Tech Focus Wins over Chinese Drivers," March 24.
Bloomberg, 2025, "Apple CEO Visits DeepSeek's Hometown During China AI Revival," March 26.
Bloomberg (Jennifer Duggan *et al.*), 2025, "Trump's Pharma Threats Take Tariffs into Uncharted Territory," April 1.
Bloomberg, 2025, "Putin Allows Goldman Sachs to Sell Russian Oil, Gas Shares," April 2.
Bloomberg (Amanda Albright), 2025, "Harvard to Borrow \$750 Million after Funding Threat Warning," April 7.
Bloomberg (Janet Lorin and Akayla Gardner), 2025, "Cornell, Northwestern Get Hit with Federal Funding Freeze," April 8.
Bloomberg (Danny Lee and Siddharth Vikram Philip), 2025, "Chinese Airline Delays Boeing Jet Delivery as Tariffs Surge," April 11.
British Broadcasting Corporation (BBC), 2025, "Hundreds Trapped under Rubble of Collapsed Buildings as Myanmar Earthquake Death Toll Passes 1,600," March 28.
British Broadcasting Corporation (BBC), 2025, "'Sometimes You Have to Walk through Fire': Tariffs Get Backing in Trump Heartland," April 5.
Cable News Network (CNN) (Ashley Strickland), 2025, "Curiosity Rover Makes 'Arguably the Most Exciting Organic Detection to Date on Mars,'" March 29.
Chilukuri, Vivek and Ruby Scanlon, 2025, "Countering the Digital Silk Road: Indonesia," Washington, D.C.: Center for a New American Security (CNAS), March.
Chinese Government, 2025, "Guānyú Gōngkāi Zhēngqiú «Zhōnghuá Rénmín Gònghéguó Wǎngluò Ānquán Fǎ (Xiūzhèng Cǎo'àn Zàicì Zhēngqiú Yìjiàn Gǎo)» Yìjiàn Tōngzhī [Notice on Soliciting Public Opinions on the Cybersecurity Law of the People's Republic of China (Draft for Soliciting Comments)/关于公开征求《中华人民共和国网络安全法(修正草案再次征求意见稿)》意见的通知], Beijing, March 28.
Choudhury, Prithwiraj, 2025, *The World Is Your Office: How Work from Anywhere Boosts Talent, Productivity, and Innovation*, Boston: Harvard Business Review Books, April.
De Neve, Jan-Emmanuel and George Ward, 2025, *Why Workplace Wellbeing Matters: The Science behind Employee Happiness and Organizational Performance*, Boston, MA: Harvard Business Review Press, March.
Deutscher Industrie- und Handelskammertag (DIHK) (Association of German Chambers of Industry and Commerce), 2025, „Regionale Divergenzen belasten Auslandsgeschäft Umfrage "Going International" zeigt: USA wird zur Problemregion“, Berlin, March 27.
Duarte, Pablo and Agnieszka Gehringer, 2025, „Zolltarifberechnung auf einem Bierdeckel“, Cologne: Flossbach von Storch Research Institute, April.
Economist, 2025, "How a Year of Tremor and Terror Transformed Japan," March 27.
Economist, 2025, "Can the World's Free-Traders Withstand Trump's Attack?" April 2.
Economist, 2025, "Even Americans Don't Want Trump's Barmy Tariffs, Writes Douglas Irwin," April 3.
Economist, 2025, "Trump's Tariffs Will Pummel Vietnam," April 7.
Economist, 2025, "Pity American Firms in China. Xi Jinping Is Hitting Back," April 15.

The Tokyo-Cambridge Gazette (In Search of Japa's Global Strategies)

No. 193 (May 2025)

リーダーにとって重要な事とは、細部にわたって意思決定にかかわる知識を持つ忠実な“補佐集団”を持つ事である。森の全体像が木々の情景によって邪魔されぬように、リーダー自身は細部に囚われて全体を見失ってはならない。実行段階では、リーダー自らが選んだ信頼出来る専門家をこれに当らせて、リーダー自身は専門家達の報告を確かめ、審査を頻繁に行う事に止めるのだ。

(アンドレ・モーロー)

The leader must have round him a dedicated team that can deal with minor decisions for him. He must not let the trees hide the wood. For the execution of orders, he has his technicians whom he has chosen and in whom he has confidence; he allows them to act freely and is content to verify, by frequent checking, the exactitude of the information they bring him.

[Il importe que le chef, autour de lui, réunisse une équipe qui lui soit toute dévouée et qui sache prendre les décisions de détail. Il ne doit pas permettre aux arbres de lui cacher la forêt. Pour l'exécution, il a ses techniciens qu'il a choisis et qui possèdent sa confiance; il les laisse agir et se contente de vérifier, par de fréquents sondages, l'exactitude de leurs informations.]

(André Maurois)

Farrell, Henry and Abraham Newman, 2025, "The Brewing Transatlantic Tech War: How Silicon Valley Got Entangled in Geopolitics—and Lost," *Foreign Affairs*, April 3.

Feige, Daniel Martin, 2025, *Kritik der Digitalisierung: Technik, Rationalität und Kunst*, Hamburg: Meiner Felix Verlag, February.

Financial Times (William Langley and Haoxiang Ko), 2025, "China Is Suffering Its Own 'China Shock,'" March 24.

Financial Times (Tom Wilson and Leslie Hook), 2025, "Governments Should Nationalise Smelters to Compete with China, Says Trafigura," March 25.

Financial Times (Ryan McMorro and Gregory Meyer), 2025, "US Companies Feel China Squeeze as New Trump Tariffs Loom," March 26.

Financial Times (Leo Lewis *et al.*), 2025, "US Trading Partners Warn of Retaliation to Trump's 25% Car Tariffs," March 26.

Financial Times (John Burn-Murdoch), 2025, "Why Hasn't AI Taken Your Job Yet?" March 27.

Financial Times (Editorial), 2025, "US Car Tariffs Help Chinese EVs to Race Ahead," March 28.

Financial Times (Andy Bounds), 2025, "EU Capitals Push to Water Down Retaliation against Trump Tariffs," March 28.

Financial Times (Peggy Hollinge), 2025, "Amazon to Begin Deploying Rival Satellites to Starlink This Month," April 2.

Financial Times (David Keohane), 2025, "Japan's Safety Deposit Box Problem," April 2.

Financial Times (Owen Walker), 2025, "Singapore Warns End of Free Trade Era 'Very Hostile' for Small Nations," April 7.

Financial Times, 2025, "Martin Wolf Talks to David Autor — Could AI Be a Bigger Threat to US Jobs Than China?" April 20.

Financial Times (Peter Foster), 2025, "Donald Trump's Tariffs Choke Vital Medical Device Supply Chain," April 23.

Financial Times (Michael Acton *et al.*), 2025, "Apple Aims to Source All US iPhones from India in Pivot away from China," April 24.

Financial Times (FT reporters), 2025, "Why Trump Can't Build iPhones in the US," April 28.

Grossman, Derek, 2025, "Trump's Early Moves Should Give Taiwan Confidence," Santa Monica, CA: RAND Corporation, April 4.

Harithas, Barath *et al.*, 2025, "'Liberation Day' Tariffs Explained, Washington, D.C.: Center for Strategic and International Studies (CSIS), April 3.

Jones, Charles I., 2025, "How Much Should We Spend to Reduce A.I.'s Existential Risk?" NBER Working Paper No. 33602, March.

Kroeber, Arthur, 2025, "China Is Well Positioned to Weather Trump's Trade War," *Financial Times*, April 13.

Lalwani, Nikita, 2025, "How America Can Stay Ahead of China in the AI Race," *Foreign Affairs*, April 15.

LaTourrette, Tom *et al.*, 2025, "The Potential Impact of Seabed Mining on Critical Mineral Supply Chains and Global Geopolitics," Santa Monica, CA: RAND Corporation, April.

Le Monde (AFP), 2025, «Au Japon, la secte Moon privée de toute reconnaissance légale par la justice», March 25.

Liánhé Zāobào/Lianhe Zaobao («聯合早報»), 2025, "Zhōngxīn Guójì dēng Lù Qī Pīzhī zài Tái Fēifā Wǎjiào Gāo Kējì Réncai [SMIC and other Chinese companies accused of illegally poaching high-tech talents in Taiwan/中芯国际等陆企被指在台非法挖角高科技人才]," March 28.

Liánhé Zāobào/Lianhe Zaobao («聯合早報»), 2025, "Měi Cānyiyuàn Wàiwēihuiyiyuàn Lǚ Tuán Fǎng Tái Xiéshāng Mǎoyì Tóuzī dēng Yìtí [U.S. Senate Foreign Relations Committee members lead a delegation to visit Taiwan to discuss trade, investment and other issues/美参议院外委会议员率团访台 协商贸易投资等议题]," April 16.

Luce, Edward, 2025, "The Last Grand Strategists: What Brzezinski and Kissinger Could Teach Trump," *Financial Times*, April 11.

McFarlane, Arthur, 2025, "Putin's AI Blunder Is a Gift to Opponents," April 2.

National Academies of Sciences, Engineering, and Medicine (Elected members), 2025, "To the American People," Washington, D.C., March 31.

Nature (Max Kozlov), 2025, "Exclusive: NIH to Cut Grants for COVID Research, Documents Reveal," March 26.

Nature (Alexandra Witze), 2025, "75% of US Scientists Who Answered *Nature* Poll Consider Leaving," March 27.

Nature (Diana Kwon), 2025, "Science Sleuths Flag Hundreds of Papers That Use AI without Disclosing It," April 24.

New York Times (Martin Fackler and Hisako Ueno), 2025, "Japanese Court Disbands Unification Church in Wake of Abe Killing," Marc 25.

New York Times (Nicholas Casey), 2025, "Unburying the Remains of the Third Reich," March 27.

New York Times (Jenna Russell), 2025, "With Universities Threatened, Can Boston Still Be Boston?" April 6.

New York Times (Rachel Rouben and Dan Diamond), 2025, "RFK Jr. Says FDA Has Become a 'Sock Puppet' in Meeting with Staff," April 11.

New York Times (Stephanie Saul and Alan Blinder), 2025, "Emerging from a Collective Silence, Universities Organize to Fight Trump," April 27.

Osburg, Jan *et al.*, 2025, "Small Uncrewed Aircraft Systems (SUAS) in Divisional Brigades," Santa Monica, CA: RAND Corporation, April.

Politico.eu (Laura Kayali), 2025, "Finland Will Exit Global Land Mine Treaty as Russia Fears Grow," April 1.

Rénmín Wǎng/Renmin Wang («人民网»), 2025, "Wǒguó duì Zhōngzhōng Xītǔ Xiāngguān Wù Xiàng Shíshī Chūkǒu Guǎnzhi [Our country implements export controls on several rare earths/我国对中重稀土相关物项实施出口管制]," April 5.

Reuters, 2025, "Google Introduces New AI Models for Rapidly Growing Robotics Industry," March 13.

Reuters (Victoria Waldersee), 2025, "Mercedes-Benz Takes Stake in Robotics Maker Appteronik, Tests Robots in Factories," March 19.

Reuters (Alessandro Parodi), 2025, "Volkswagen, BMW Group Electric Cars Outsell Tesla in Europe in February," March 24.

Reuters, 2025, "Taiwan Says China's SMIC Suspected of Illegally Luring Tech Workers," March 28.

Reuters (Jonathan Stempel), 2025, "Berkshire Dismisses 'False' Reports on Buffett Comments after Trump Shares Video," April 5.

Reuters, 2025, "South Korea Unveils \$23 Billion Support Package for Chips amid US Tariff Uncertainty," April 15.

Reuters (Jonathan Saul *et al.*), 2025, "United States Eases Port Fees on China-Built Ships after Industry Backlash," April 18.

Reuters (Lewis Jackson and Amy Lv), 2025, "China's Export Controls Are Curbing Critical Mineral Shipments to the World," April 20.

Reuters (Andrea Shalal), 2025, "United Steelworkers Union Still 'Unalterably Opposed' to US Steel-Nippon Deal," April 23.

Reuters, 2025, "China Asks Korea Not to Supply Products Using Rare Earths to US Defence Firms, Paper Reports," April 23.

Reuters (Jonathan Allen and Brad Brooks), 2025, "Harvard Antisemitism and Islamophobia Task Forces Find Widespread Fear, Bigotry," April 30.

Special Competitive Studies Project (SCSP), 2025, "The View from Beijing: What DeepSeek and Manus Reveal About China's Global AI Ambitions," Arlington, MD, April 3.

Stanford University, Human-Centered Artificial Intelligence (HAI), 2025, "Artificial Intelligence Index Report 2025," Stanford, CA, April.

Stifterverband für die Deutsche Wissenschaft, 2025, „Deutschland braucht eine starke und mutige Innovationspolitik“, Essen, March.

Taiwanese Government, Executive Yuan (Xíngzhèng Yuàn/行政院), Department of Justice (法務部), 2025, "Fǎwùbù Diàochájú Tóngbù Zhēnbàn 'Zhōng' Qī Fēifǎ zài Tái Wǎjiào Gāokējì Réncai Àn [The Ministry of Justice's Investigation Bureau is also investigating a case of Chinese companies illegally poaching high-tech talents in Taiwan/法務部調查局同步偵辦「中」企非法在臺挖角高科技人才案]," Taipei (臺北), March 28.

United Kingdom Government, Department of Business and Trade (MBT), 2025, "Government Acts to Save British Steel Production," London, April 12.

United States Government, Department of Defense (DoD), National Security Commission on Emerging Biotechnology (NSCEB), 2025, "Charting the Future of Biotechnology: An Action Plan for American Security and Prosperity," Arlington, VA, April.

United States Government, US Trade Representative (USTR), 2025, "2025 National Trade Estimate Report on Foreign Trade Barriers of the President of the United States on the Trade Agreements Program," Washington, D.C., March.

U.S. Chamber of Commerce Foundation, 2025, "High Stakes: A Framework for Geopolitical Risk Management," Washington, D.C., April.

The Tokyo-Cambridge Gazette (In Search of Japan's Global Strategies)

No. 193 (May 2025)

すべてを疑うか、すべてを信ずるかは、両方とも都合の良い解決法だ。どちらも我々は反省しないですむからだ。(アンリ=ジュール・ポアンカレ)

To doubt everything or to believe everything are two equally convenient solutions; both dispense with the necessity of reflection. [Douter de tout ou tout croire, ce sont deux solutions également commodes, qui l'une et l'autre nous dispensent de réfléchir.]

(Jules-Henri Poincaré)

- Wall Street Journal (Matt Barnum and Deepa Seetharaman), 2025, "There's a Good Chance Your Kid Uses AI to Cheat," March 15.
- Wall Street Journal (Lingling Wei), 2025, "China Explores Limiting Its Own Exports to Mollify Trump [中国考虑通过自愿出口限制安抚特朗普]," March 21.
- Wall Street Journal (Jason Douglas and Tom Fairless), 2025, "Trade War Explodes across World at Pace Not Seen in Decades [贸易战以几十年来最快的速度在全球升温]," March 24.
- Wall Street Journal (Allison Pohle), 2025, "Canadians Are Boycotting American Vacations," March 25.
- Wall Street Journal (Liza Lin), 2025, "Trump Takes Tough Approach to Choking Off China's Access to U.S. Tech [特朗普采取强硬新手段阻止中国获取美国技术]," March 26.
- Wall Street Journal (Liyan Qi and Jonathan Cheng), 2025, "Chinese Scientist Ostracized over Gene-Edited Babies Seeks Comeback [贺建奎曾因'基因编辑婴儿'声名狼藉,如今他正寻求东山再起]," March 26.
- Wall Street Journal (Yoko Kubota), 2025, "Chinese Exporters Hunt for Alternatives to 'Irreplaceable' U.S. Buyers [美国市场'不可替代,'中国出口商在贸易战阴影下如何寻找新出路]," March 27.
- Wall Street Journal (Vicky Ge Huang), 2025, "Democrats Fear Trump's Crypto Entity Will Pose Regulatory Conflict," March 28.
- Wall Street Journal (Raffaele Huang and Josh Chin), 2025, "Humanoid Robots Are Lousy Co-Workers. China Wants to Be First to Change That [人形机器人远未如期待智能,中国希望率先破局]," March 29.
- Wall Street Journal (Amrith Ramkumar), 2025, "A Peter Thiel Protégé Is Leading Trump's AI Strategy against China [特朗普政府针对中国的 AI 战略负责人是谁?]," March 30.
- Wall Street Journal (Drew FitzGerald *et al.*), 2025, "Apple and Musk Clash over Satellite Expansion Plans," March 30.
- Wall Street Journal (Douglas Belkin), 2025, "The Government Is Reviewing Federal Grants and Contracts as Part of Its Investigation into How Schools Have Handled Antisemitism," March 31.
- Wall Street Journal (Joseph Pisani), 2025, "Princeton Says Trump Administration Is Halting Research Grant Funding," April 1.
- Wall Street Journal (Rebecca Feng and Santiago Pérez), 2025, "China's Tariff-Dodging Move to Mexico Looks Doomed [中国公司借道墨西哥规避美国关税之路岌岌可危]," April 1.
- Wall Street Journal (Jason Douglas and Rebecca Feng), 2025, "The Rest of the World Is Bracing for a Flood of Cheap Chinese Goods [特朗普关税或导致'中国冲击'加剧转向美国以外市场]," April 3.
- Wall Street Journal (Liz Essley Whyte), 2025, "Ousted Vaccine Chief Says RFK Jr.'s Team Sought Data to Justify Anti-Science Stance," April 4.
- Wall Street Journal (Rolf Winkler), 2025, "Apple Plans to Source More iPhones from India as Potential Tariff Fix [苹果计划从印度向美国出口更多 iPhone, 以应对关税影响]," April 7.
- Wall Street Journal (Lingling Wei), 2025, "China Has Readied a Trade-War Arsenal That Takes Aim at U.S. Companies [中国的贸易战武器库准备就绪, 目标瞄准美国公司]," April 9.
- Wall Street Journal (Jared S. Hopkins), 2025, "China's Biotech Advances Threaten U.S. Dominance, Warns Congressional Report [美国国会报告:中国生物技术进步威胁美国主导地位]," April 8.
- Wall Street Journal (Hannah Miao and Raffaele Huang), 2025, "As U.S. Buyers Cancel Orders, Chinese Factories Say No More Discounts [直击对等关税生效后: 美国买家取消订单, 中国工厂拒绝再降价]," April 9.
- Wall Street Journal (Rolf Winkler), 2025, "What Apple Has at Stake in China [关税纷争下, 苹果公司在华风险何在?]," April 12.
- Wall Street Journal (Justin Lahart), 2025, "How the U.S. Lost Its Place as the World's Manufacturing Powerhouse [美国是如何失去全球制造业强国地位的?]," April 13.
- Wall Street Journal (Yaroslav Trofimov), 2025, "U.S. Allies Are Sitting Out Trump's Trade War with China [特朗普对中国发动贸易战, 美国盟友为何作壁上观?]," April 14.
- Wall Street Journal (Harriet Torry and Alana Pipe), 2025, "The U.S. Exports a Lot of Stuff to China. Here's a Breakdown [图解美国对华出口构成, 哪些州受影响最大?]," April 17.
- Wall Street Journal (Jon Emont), 2025, "Why It's So Difficult for Robots to Make Your Nike Sneakers [让机器人生产耐克鞋为何如此困难?]," April 21.
- Wall Street Journal (Shen Lu), 2025, "Chinese Scientists in America Come under New Wave of Suspicion," April 22.
- Wall Street Journal (Juliet Chung), 2025, "\$1 Trillion of Wealth Was Created for the 19 Richest U.S. Households Last Year," April 23.
- Wall Street Journal (Liza Lin and Raffaele Huang), 2025, "China's Huawei Develops New AI Chip, Seeking to Match Nvidia [华为开发新款 AI 芯片, 力争与英伟达匹敌]," April 28.
- Washington Post (Editorial), 2025, "How to Tell When AI Models Infringe Copyright," March 25.
- Washington Post (Leo Sands), 2025, "Europe Races to Lure U.S. Scientists as Trump Puts Pressure on Universities," March 24.
- Washington Post (Brianna Tucker), 2025, "Ex-Doctors Without Borders Head Says NYU Lecture Canceled Because of Fear of Trump," April 2.
- Washington Post (Susan Svrluga), 2025, "Harvard Rejects Trump Administration's Demands with Federal Funding at Risk," April 14.
- Washington Post (Steve Hendrix), 2025, "An Unexpected Trump Ripple: Britain Nationalizes Its Last Steel Mill," April 19.
- Wired.com (Zeyi Yang), 2025, "A Cybersecurity Professor Disappeared amid an FBI Search. His Family Is 'Determined to Fight,'" April 14.
- Xinhua Wǎng/Xinhua Wang (Xinhuanet/«新华网»), 2025, "Rénxíng Jiqiérén Jiāsù Jīnhuà [Humanoid robots are rapidly evolving/人形机器人加速进化]," April 20.
- Event: March 24~25: (Shanghai): Semiconductor Equipment and Materials International (SEMI) and Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE): "Conference of Science & Technology for Integrated Circuits (CSTIC) (集成电路科学技术大会)."
- Event: April 15~17: (Moscow): ITE: «27-я Международная выставка электроники (27th International Exhibition of Electronics)».
- Event: April 25~26: (Shanghai): Fudan University (复旦大学) and Chey Institute for Advanced Studies (崔钟贤학술원/崔钟贤学术院), "Shanghai Forum 2025 : Age of Innovation: Technology, Development and Governance (上海论坛 2025: 科技进步、可持续发展、全球治理)."
- Event: April 29: (an online event, Washington, D.C.) Center for a New American Security (CNAS): "The Stakes of Sino-American AI Competition."

3. 編集後記

トランプ政権が開始した貿易戦争の最終的帰結を友人達と語り合っているが…。

「トランプ氏は短期的に米国自体が経済的に傷ついても、米中大国間競争で勝利すれば良いと考えているのか?」と尋ねる友人達に対し、筆者の歯切れの悪い反応は次の通りだ:「側近のナヴァロ、ベッセントの両氏が深慮遠謀から「肉を切らせて骨を断つ」、即ち「To lose a battle to win a war」、中国語では「苦肉計/kǔròujì (Inflict injury on oneself to deceive the enemy)」であるならスゴイ戦略。だが、今の混乱を見れば、そうとは思えず…」。

いずれにせよ当面は「予期せぬ事を予期(expect the unexpected)」しつつ静観すべき、と諦めている。

以上

(編集責任者) 栗原 潤

キャンノングローバル戦略研究所 研究主幹

Jun KURIHARA

Research Director, Canon Institute for Global Studies

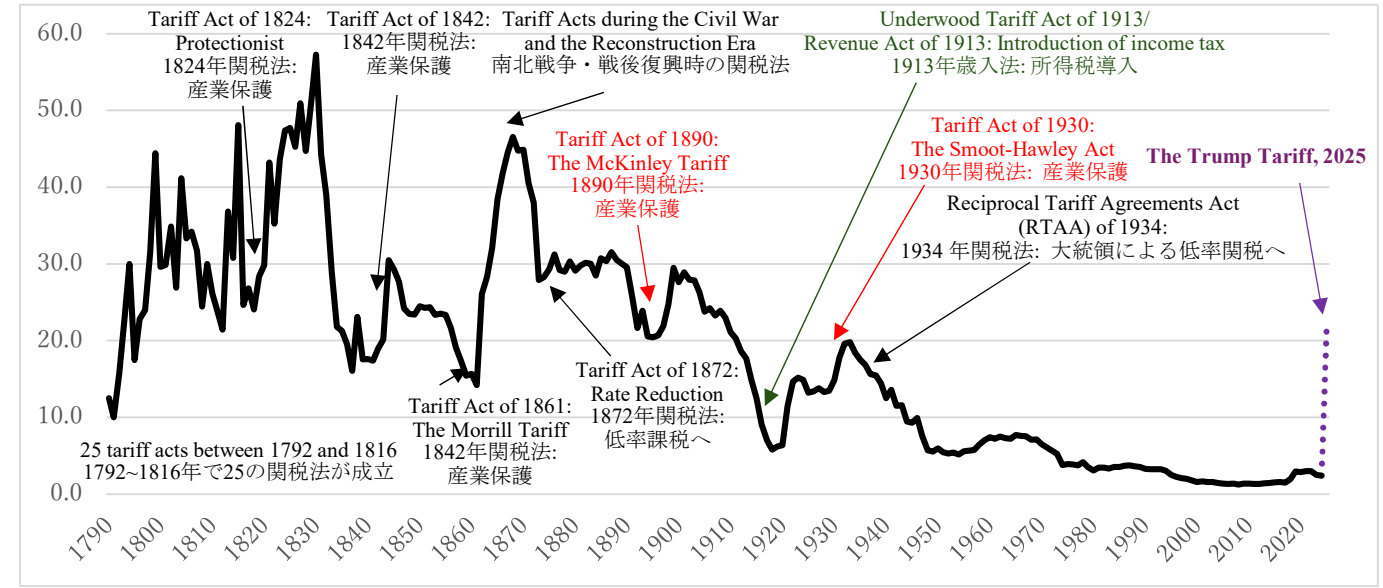
〒100-6511 東京都千代田区丸の内 1-5-1 新丸の内ビルディング 11 階 Tel: +81-(0)3-6213-0550 (代)

Kurihara.Jun@gmail.com

過去の Cambridge Gazette はネット上で見ることが出来、ダウンロードも出来ます。ネット上でキャンノングローバル戦略研究所のウェブサイトに行き、そこで栗原のコラム・論文の欄をクリックして頂ければ、バックナンバー全てを見ることが出来ます。

Jun Kurihara; 栗原 潤

Figure 1 US Average Effective Tariff Rate since 1790 (%)
図 1 1790 年以降の米国実効関税率 (%)



Note: Other notable tariff acts: Wilson-Gorman (1894), Dingley (1897), Payne-Aldrich (1909), Emergent Tariff (1921), Fordney-McCumber (1922).
Source: The Budget Lab at Yale, "Where We Stand: The Fiscal, Economic, and Distributional Effects of All U.S. Tariffs Enacted in 2025 Through April 2," New Haven, CT, April, 2025, <https://budgetlab.yale.edu/research/where-we-stand-fiscal-economic-and-distributional-effects-all-us-tariffs-enacted-2025-through-april>.

Table 1 Trumpian Triff Rates by Country
表 1 国別のトランプ相互関税率

A: Tariff charged to the USA/各国の対米税率; B: Reciprocal Tariff/相互関税

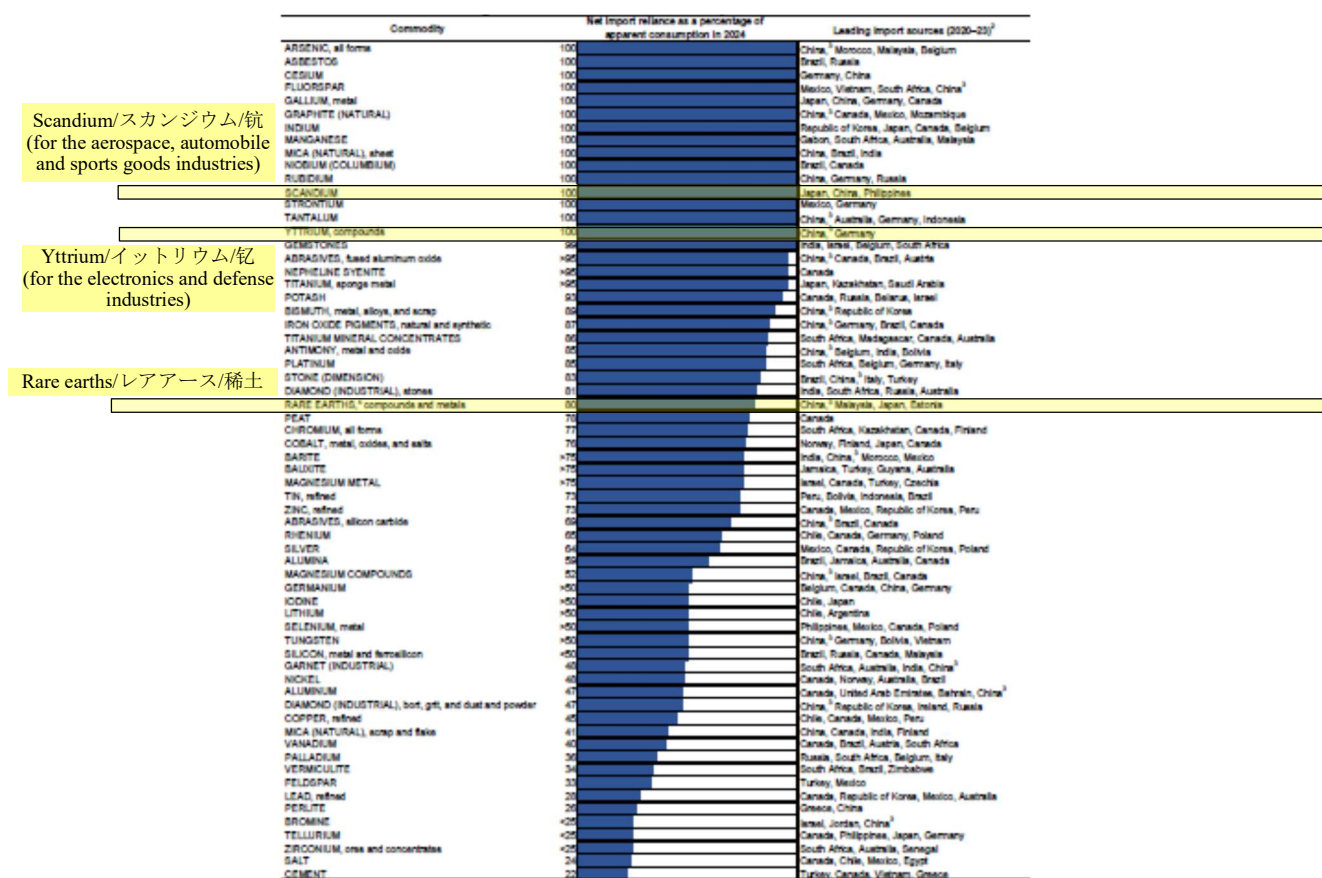
Country	A	B
Saint Pierre and Miquelon	99	50
Lesotho	99	50
Cambodia	97	49
Laos	95	48
Madagascar	93	47
Vietnam	90	46
Sri Lanka	88	44
Myanmar (Burma)	88	44
Mauritius	80	40
Iraq	78	39
Guyana	76	38
Serbia	74	37
Reunion	73	37
Liechtenstein	73	37
Botswana	74	37
Bangladesh	74	37
Thailand	72	36
Bosnia and Herzegovina	70	35
China (Note: 145%, as of Apr. 10)	67	34
North Macedonia	65	33

Country	A	B
Taiwan	64	32
Indonesia	64	32
Fiji	63	32
Switzerland	61	31
Moldova	61	31
Libya	61	31
South Africa	60	30
Nauru	59	30
Pakistan	58	29
Norfolk Island	58	29
Tunisia	55	28
Kazakhstan	54	27
India	52	26
South Korea	50	25
Malaysia	47	24
Japan	46	24
Brunei	47	24
Namibia	42	21
Côte d'Ivoire	41	21
Jordan	40	20

Country	A	B
European Union	39	20
Nicaragua	36	18
Zambia	33	17
Philippines	34	17
Israel	33	17
Mozambique	31	16
Venezuela	29	15
Norway	30	15
Nigeria	27	14
Chad	26	13
Other countries	10	10

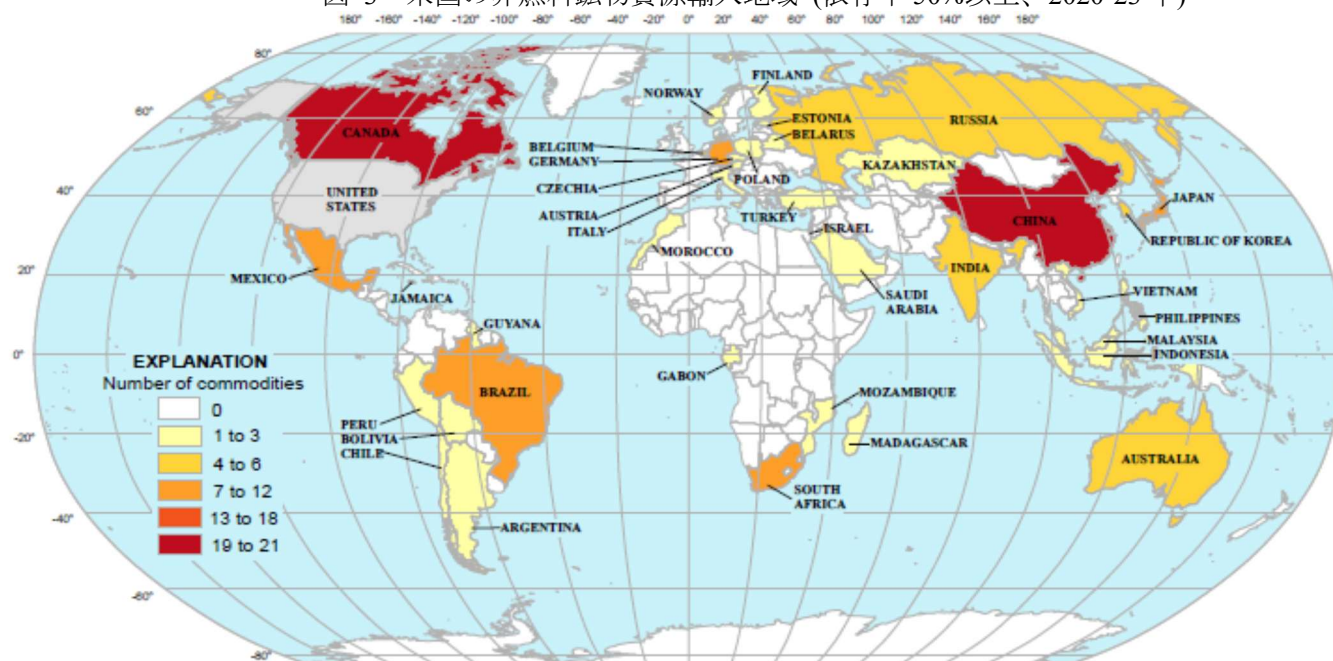
Note: Canada and Mexico: 25%.
Source: The Budget Lab at Yale, "Where We Stand: The Fiscal, Economic, and Distributional Effects of All U.S. Tariffs Enacted in 2025 Through April 2," New Haven, CT, April, 2025, <https://budgetlab.yale.edu/research/where-we-stand-fiscal-economic-and-distributional-effects-all-us-tariffs-enacted-2025-through-april>.

Figure 2 U.S. Net Import Reliance (2024)
図 2 米国の鉱物純輸入依存率 (2024 年)



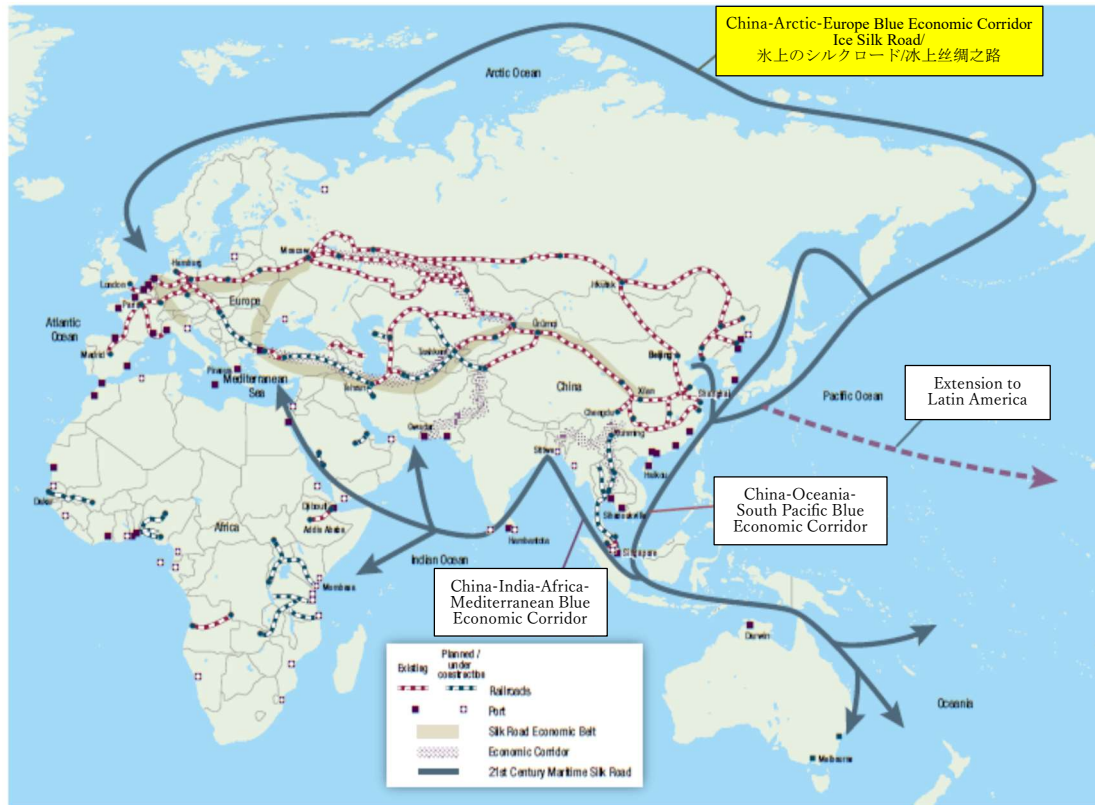
Source: U.S. Department of Interior, U.S. Geological Survey (USGS), "Mineral Commodity Summaries 2025," Reston, VA, January 31, 2025, p. 7.

Figure 3 Leading Import Sources (2020-2023) of Nonfuel Mineral Commodities (Greater than 50% Net Import Reliant)
図 3 米国の非燃料鉱物資源輸入地域 (依存率 50%以上、2020-23 年)



Source: U.S. Department of Interior, U.S. Geological Survey (USGS), "Mineral Commodity Summaries 2025," Reston, VA, January 31, 2025, p. 8.

Figure 4 Xi Jinping's Vision of Pax Sinica China-centered Global Networks
 図4 習近平政権時代の Pax Sinica 中国を中心とするグローバル・ネットワーク



Source: National Institute for Defense Studies (NIDS), "NIDS China Security Report 2019," Tokyo: NIDS, February 2019, p. 18.

Table 2 Granted AI Patents per 100,000 Inhabitants by Country, 2023
表 2 主要国の人口 10 万人当たり AI 関連特許件数 (2023 年)

Ranking	Country	国	Granted AI Patents per 100k Inhabitants
1	South Korea	韓国	17.27
2	Luxembourg	ルクセンブルク	16.31
3	China	中国	6.08
4	United States	米国	5.20
5	Japan	日本	4.68
6	Germany	ドイツ	1.22
7	Singapore	シンガポール	0.98
8	Finland	フィンランド	0.97
9	Sweden	スウェーデン	0.74
10	United Kingdom	英国	0.52
11	Denmark	デンマーク	0.47
12	France	フランス	0.43
13	Netherlands	オランダ	0.40
14	Australia	オーストラリア	0.38
15	Greece	ギリシャ	0.27

Source: Stanford Human-Centered Artificial Intelligence (HAI), “Artificial Intelligence Index 2025,” Stanford, CA, April 7, 2025, p. 45.

Table 3 Number of Notable AI Models by Select Geographic Areas, 2024
表 3 主要国における注目すべき AI モデル開発件数 (2024 年)

Ranking	Country	国	Number of Notable AI Models
1	United States	米国	40
2	China	中国	15
3	France	フランス	3
4	Canada, Israel, Saudi Arabia, and South Korea	カナダ、イスラエル、サウジアラビア、韓国	1

Source: Stanford Human-Centered Artificial Intelligence (HAI), “Artificial Intelligence Index 2025,” Stanford, CA, April 7, 2025, p. 46.

Table 4 Number of Notable AI Models by Organization, 2024 and 2014~2024
表 4 開発組織別の注目すべき AI モデル開発件数 (2024 年(単年)及び 2014~2014 年(累計))

2024			2014~2024		
Ranking	Organization	Number	Ranking	Organization	Number
1	Google	7	1	Google	187
1	OpenAI	7	2	Meta	82
3	Alibaba (阿里巴巴)	6	3	Microsoft	39
4	Apple	4	4	OpenAI	36
4	Meta	4	5	Carnegie Mellon University	25
4	Nvidia	4	5	Stanford University	25
7	Anthropic	3	7	Tsinghua University (清华)	22
7	Minstral AI	3	7	UC Berkeley	22
9	ByteDance (字节跳动)	2	9	Nvidia	17
9	DeepSeek (深度求索)	2	10	University of Oxford	16
9	MIT	2	11	MIT	15
9	Tencent (腾讯)	2	11	Salesforce	15
9	UC Berkeley	2	11	University of Washington	15
9	Writer	2	14	Alibaba (阿里巴巴)	14
9	Zhipu AI (智谱)	2	15	Allen Institute for AI	12

Source: Stanford Human-Centered Artificial Intelligence (HAI), “Artificial Intelligence Index 2025,” Stanford, CA, April 7, 2025, p. 49.